平成２７年度
（２０１５年度）

履修の手引

熊本県立大学

文　学　部

平成27年度「履修の手引」は在籍期間を通じて使用しますので、
大切に保管してください。

●文学部の理念

文学部における教育・研究の主たる対象は人間とその文化であり、現代を含む歴史的な視野に立ってこれを考察し、その本質を明らかにする。

●人材養成の目的

文学部では、人間文化の探究を通して、言語、文学、歴史、思想等について豊かな教養を有し、地域社会および国際社会の発展に貢献する有為の人材を養成する。

日本語日本文学科では、日本文学を学ぶことを通して我が国の文化を継承するとともに、中学校・高等学校の国語教員ならびに日本語教師といった専門的職業人として活躍できる人材、あるいは日本語と日本文学の素養をさまざまな形で社会に活かすことのできる人材を養成する。

英語英米文学科では、英語による高度なコミュニケーション能力を身につけ、英語学、英文学、米文学、英語教育の専門的な知識を備えた、中学校・高等学校の英語教員といった専門的職業人や広い知識と国際感覚をもって社会で活躍することのできる人材を養成する。

●その他の教育研究上の目的

文学部は、言語、文学、歴史、思想等に亘る人文的教養の基礎に立ち、日本語、日本文学、日本語教育、あるいは英語、英米文学、英語教育を専門的に教育・研究することを目的とする。

●学位授与方針（ディプロマポリシー）

【学部】

＜知識・理解＞
- 人文学における基礎的知識や方法を学び、幅広い観点から物事を考察する能力を修得している。
- 専門的研究活動に不可欠な知識と方法論を修得している。
- 修得した教養と専門的知識を通じて人間と文化の本質的価値を理解している。

＜思考・判断＞
- 教養・専門教育を通して、さらには、卒業論文執筆作業を通して、自ら課題を設定し、分析し、整理する、総合的判断能力を修得している。
- 学内外における諸活動に於いて、自ら課題を設定し、分析し、整理することができ、総合的判断能力を修得している。

＜関心・意欲＞
- 人文学に関する豊かな知識と能力に基づき、地域社会の特色を理解し、その在り方に思索を巡らす意欲がある。
- 人文学に関する豊かな知識と能力に基づき、国際的な視野に立って情報を正確に収集し、異文化を理解しようとする意欲がある。

＜態度＞
- 人文学を学ぶことで得た知見を発展的に継承する態度が見られる。
- 人文学の知見を普及、伝達していこうとする態度が見られる。

＜技能・表現＞
- 自分自身の考えを的確に発信する能力を修得している。
- 豊かな人間関係を維持するための十分な人間性を備え、そのために必要な技能を修得している。
- 国際的な人間関係を作り上げるために必要な人間性を備え、そのために必要な知識、コミュニケーション技能を修得している。

【日本語日本文学科】

＜知識・理解＞
- 日本語および日本文学の専門知識を軸に、関連する人文系その他諸分野の基礎知識と学問の方法を身につけている。
- 日本語と日本文学の史的展開についての知識を有し、それをふまえて日本の文化を深く理解している。

＜思考・判断＞
- 日本語あるいは日本文学についての、抱いた関心をもとに課題設定ができ、必要な資料・データを収集・整理・分析し課題解決ができる。

＜関心・意欲＞
- 日本語や日本文学、日本文化について、修得した知識をもとに自発的に関心を広げていく意欲がある。

＜態度＞
- 日本語及び日本文学を学ぶことで得た知見を発展的に継承する態度が見られる。
- 日本語及び日本文学の知見を普及、伝達していこうとする態度が見られる。

＜技能・表現＞
- 現代の規範に則った日本語を操り、場面や状況に応じてそれにふさわしい話し方、書き方ができる。
- 学科の専門知識について、一般の人に理解できるような説明ができる。

【英語英米文学科】

＜知識・理解＞
- 英語学・英語教育・英米文学・英語圏やその他の言語文化について広く深い教養と専門的知識を身につけている。
- 英語それ自体、または英語で書かれた文学作品を学術的に分析する知識と方法論を修得し、それに基づいて、異文化を深く理解すると同時に自国の文化を相対化できる能力を身につけている。

＜思考・判断＞
- カリキュラムを通して培った論理的な考察能力を活用して、英語や英語圏の文学・文化、さらには広く社会に関して高度な思索を巡らす能力を修得している。

＜関心・意欲＞
- 英語や英語圏の文学や文化、思想に関する豊かな学術的知識を、国際情勢や異文化への深い関心へと発展させる意欲がある。

＜態度＞
- 英語学・英語教育・英米文学・英語圏やその他の言語文化を学ぶことで得た知見を発展的に継承する態度が見られる。
- 英語学・英語教育・英米文学・英語圏やその他の言語文化の知見を普及、伝達していこうとする態度が見られる。

＜技能・表現＞
- 英語に関する語学的知識を習得し、実践的運用能力を身につけている。
- 英語・日本語等の言語運用能力を駆使して、自己の考えや主張を正確に表現して発信できる能力を修得している。

●教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

【学部】

４年間を通じて、文学・言語を中心とした人文学の基礎的知識を身につけ、併せて全学共通科目により総合的な素養を身につけることで、幅広い知見と判断力を養い、広く多角的に物事をとらえ思考できるよう、両学科とも以下のような理念のもとカリキュラムを編成する。

【日本語日本文学科】

１年次では、各種「概論」「基礎論」を通して、日本文学・日本語学研究のための基礎的な知識を身につけつつ、併せて各時代の「文学史」（一部２年次にまたがる）や「概論」により、文学・語学への関心を喚起する。また、歴史・言語・思想の面から、広く人文学にわたる基礎的な知識と思考法を身につけ、ことばと作品を扱うための基盤を養う。

２年次では、各種の知識を補いつつ、「演習」により知識の応用と思考・判断、資料操作の実践を積む。そのような実践を通して、文章の正確な読解とまとめの力を、そしてそれを発表することにより、考えを伝えるための表現力を養う。また、「演習」は「日本文学」分野と「日本語学」分野とから、それぞれ１科目を必修とすることで、ことばを扱う力と作品を読解する力とをバランスよく身につける。

３年次では、学生各自の関心に合わせ卒業論文制作を見据えながら「特殊研究」を選択し、テーマに応じた問題の切り口を探し、分析方法と論述の仕方を学ぶ。併せて、関心を内的なものに留めず、外に向けて論理的に発信しようとする態度を身につける。

４年次では、１～３年次での学習成果の集大成として、卒業論文に取り組む。また学生各自の必要に応じ、知識や思考、技能のための科目を補完的に履修する。

卒業論文への取り組みを通じては、日本語・日本文学に関する自発的な関心をもとに、それまで得た知識と分析力を駆使し、論理的に考えをまとめる力を育む。併せて、社会生活に必要な思考力・判断力・表現力を体得する。

【英語英米文学科】

１年次

２年次以降の英語学・英語教育・英米文学・英語圏やその他の言語文化について広く深い教養と専門的知識を身につけるための基盤となる「読む・書く・聞く・話す」の英語コミュニケーション能力の基礎を形成する。また、1，2年次にわたって、専門領域の基盤となる歴史、言語、思想、文学の基礎的知識・思考法を身につける。同時に、英米文学の講読授業や英文法の講義により、英語の仕組みや英語圏の文学や文化、思想への関心を喚起する。

２年次

口頭による英語プレゼンテーション能力を強化しつつ、４技能のバランスの取れた英語コミュニケーション能力を伸長する。また、英語という言語や英語で書かれた文学作品を学術的に分析する知識と方法論を学び、異文化を深く理解すると同時に自国の文化を相対化できる能力を身につける。また、全学共通科目、学部共通科目との連携の上に、コア領域を軸としつつも様々な言語、文化に広く展開し、多角的に関心を広げ、知識を得る。

３年次

学術的な活動あるいは社会に出たときに広く使える実践的な言語運用能力を身につける。また、「特殊研究（卒論）」の領域を考慮した「演習」科目によって、英語学・英語教育・英米文学・英語圏やその他の言語文化について広く深い教養と専門的知識、論理的な考察能力を身につけ、修得した英語・日本語等の言語運用能力に基づいて、自己の考えや主張を正確に表現して発信できる能力を修得する。

４年次

卒業論文を通じて、英語学・英語教育・英米文学・英語圏やその他の言語文化を学ぶことで得た知見を発展させ、自身の関心のあるテーマに結びつけ、深く探求する力を身につける。さらに、英語・日本語等の言語運用能力を駆使して得られた知見をまとめ、発信し、普及し伝達する。

目　　次

文　学　部

Ⅰ　平成27年度授業暦・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

Ⅱ　履修の概要（全学年共通）
　1　授業科目区分・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
　2　単位について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
　3　学期区分及び授業時間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
　4　試験について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
　5　履修登録手続きについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
　6　ＧＰＡ制度について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16

Ⅲ　履修について
　1　共通科目群について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
　2　日本語日本文学科の教育課程紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24
　　（進級要件、卒業要件、履修モデル）
　3　英語英米文学科の教育課程紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・32
　　（進級要件、卒業要件、履修モデル）
　4　教育職員免許状の取得について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・40
　5　学科別授業一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・46

Ⅳ　日本語教育課程及び日本語教育コースについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・61

大学関係の規程等について

掲示を見る習慣をつけましょう

学生の皆さんへの連絡は、原則として掲示により行います。来学時には、必ず学内の掲示板（講義棟１号館学生ロビー、本部棟ホール、大ホール前学生ロビー）及び情報表示機（大型ディスプレイ）を確認してください。

なお、主要な掲示は大学ホームページにも掲載しますが、個人情報保護の観点から掲載できない内容もありますので、学内掲示を必ず見るようにしてください。

【主な掲示項目】「履修の手引」作成後の授業科目の開講時期、担当教員等の変更、学生呼び出し、休講、時間割の変更、追試験・再試験の通知等

Ⅰ　平成27年度（2015年度）授業暦

熊本県立大学（前期）

	日	月	火	水	木	金	土	備　考
2015								
4月				1	2	3	4	4/3　学部在学生オリエンテーション
								4/6-7　学部新入生オリエンテーション
	5	6	7	8 ①	9 ①	10 ①	11	4/7　入学式
								4/7　大学院新入生オリエンテーション
	12	13 ①	14 ①	15 ②	16 ②	17 ②	18	4/8　授業開始
								4/8-17　履修登録期間
	19	20 ②	21 ②	22 ③	23 ③	24 ③	25	
5月	26	27 ③	28 ③	祝 29 ④	30 ④	1 ④	2	4/29　水第④回目の授業を実施
								5/2　開学記念日
	3 祝	4 祝	5 祝	6 振	7 ⑤	8 ⑤	9	5/9　体育祭（予定）
	10	11 ④	12 ④	13 ⑤	14 ⑥	15 ⑥	16 補	5/16　補講日
	17	18 ⑤	19 ⑤	20 ⑥	21 ⑦	22 ⑦	23	
	24	25 ⑥	26 ⑥	27 ⑦	28 ⑧	29 ⑧	30	
6月	31	1 ⑦	2 ⑦	3 ⑧	4 ⑨	5 ⑨	6	
	7	8 ⑧	9 ⑧	10 ⑨	11 ⑩	12 ⑩	13	
	14	15 ⑨	16 ⑨	17 ⑩	18 ⑪	19 ⑪	20 補	6/20　補講日
	21	22 ⑩	23 ⑩	24 ⑪	25 ⑫	26 ⑫	27	
7月	28	29 ⑪	30 ⑪	1 ⑫	2 ⑬	3 ⑬	4 補	7/4　補講日
	5	6 ⑫	7 ⑫	8 ⑬	9 ⑭	10 ⑭	11	7/11　アドミニ研究科秋季入学入試（予定）
	12	13 ⑬	14 ⑬	15 ⑭	16 ⑮	17 ⑮	18	
								7/19, 26　オープンキャンパス（予定）
	19	祝 20 ⑭	21 ⑭	22 ⑮	23 試	24 補	25 補	7/20　月第⑭回目の授業を実施
								7/24-25　補講日
	26	27 ⑮	28 ⑮	29 試	30 試	31 試	1	7/23, 29-31, 8/3-5　前期試験日
8月	2	3 試	4 試	5 試	6	7	8	8/6-9/27　夏期休業
								8/9　電気設備点検に伴う停電
	9	10	11	12	13	14	15	8/14　サマー・ECO・デー
	16	17	18	19	20	21	22	
								8/29　文学研究科秋季入学入試（予定）
	23	24	25	26	27	28	29	8/29　環境研究科秋季入学入試（予定）
								8/29　環境研究科前期課程入試（予定）
	30	31	1	2	3	4	5	
9月								
	6	7	8	9	10	11	12	
	13	14	15	16	17	18	19	9/19-21　総管自己推薦型入試（予定）
	20	21 祝	22 祝	23 祝	24	25	26	9/24　9月卒業式（予定）
								大学院博士後期課程秋季入学式（予定）
								前期成績発表（予定）
								9/26-27　文・アドミニ研究科入試（予定）

○各授業時間　　1時限　8:40～10:10　2時限　10:20～11:50　3時限　12:50～14:20
4時限　14:30～16:00　5時限　16:10～17:40　6時限　18:00～19:30

・4/29　昭和の日　・5/3　憲法記念日　・5/4　みどりの日　・5/5　こどもの日
・7/20　海の日　・9/21　敬老の日　・9/22　国民の休日　・9/23　秋分の日

	日	月	火	水	木	金	土	備　考
2015								
9月	27	28 ①	29 ①	30 ①	1 ①	2 ①	3	9/28　後期授業開始
10月								9/28-10/7　履修登録変更期間
	4	5 ②	6 ②	7 ②	8 ②	9 ②	10	10/3-4　環境自己推薦型入試（予定）
	11	祝 12 ③	13 ③	14 ③	15 ③	16 ③	17	10/12　月第③回目の授業を実施
	18	19 ④	20 ④	21 ④	22 ④	23 ④	24	
	25	26 ⑤	27 ⑤	28 ⑤	29 ⑤	30 ⑤	31	
11月	1	2 ⑥	3 祝	4 ⑥	5 ⑥	6 ⑥	7	
	8	9 ⑦	10 ⑥	11 ⑦	12 ⑦	13	14	11/13　休講（白亜祭準備）
								11/14-15　白亜祭
	15	16 ⑧	17 ⑦	18 ⑧	19 ⑧	20 ⑦	21 補	11/21　補講日
	22	23 祝	24 ⑧	25 ⑨	26 ⑨	27 ⑧	28	11/27-28　特別選抜準備（予定）
12月	29	30 ⑨	1 ⑨	2 ⑩	3 ⑩	4 ⑨	5	11/29　特別選抜（予定）
	6	7 ⑩	8 ⑩	9 ⑪	10 ⑪	11 ⑩	12	
	13	14 ⑪	15 ⑪	16 ⑫	17 ⑫	18 ⑪	19 補	12/19　補講日
	20	21 ⑫	22 ⑫	23 祝	24	25	26	12/23-1/7　年末年始休業
2016	27	28	29	30	31	1 祝	2	
1月								
	3	4	5	6	7	8 ⑫	9	1/8　授業再開
	10	11 祝	12 ⑬	13 ⑬	14 ⑬	15	16	1/15　センター試験準備（立入禁止）
								1/16-17　センター試験（立入禁止）
	17	18 ⑬	19 ⑭	20 ⑭	21 ⑭	22 ⑬	23	1/23-24　センター試験予備日
	24	25 ⑭	26 ⑮	27 ⑮	28 ⑮	29 ⑭	30 補	1/30　補講日
								2/2-3　補講日
2月	31	1 ⑮	2 補	3 補	4 試	5 ⑮	6	2/6-7　全研究科入試（予定）
								2/6　私費外国人留学生入試（予定）
	7	8 試	9 試	10 試	11 祝	12 試	13	2/4, 8-10, 12, 15-16　後期試験日
								2/11　環境研究科博士後期入試（予定）
	14	15 試	16 試	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26	27	2/23-24　入学試験・前期準備（立入禁止）
								2/25　入学試験・前期（立入禁止）
3月	28	29	1	2	3	4	5	
	6	7	8	9	10	11	12	3/10-11　入学試験・後期準備（立入禁止）
								3/12　入学試験・後期（立入禁止）
	13	14	15	16	17	18	19	3/18　卒業式（予定）
	20 祝	21 振	22	23	24	25	26	3/28　後期成績発表（予定）
	27	28	29	30	31			

○各授業時間　　1時限　8:40～10:10　2時限　10:20～11:50　3時限　12:50～14:20
4時限　14:30～16:00　5時限　16:10～17:40　6時限　18:00～19:30

・10/12　体育の日　・11/3　文化の日　・11/23　勤労感謝の日　・12/23　天皇誕生日　・1/1　元日
・1/11　成人の日　・2/11　建国記念の日　・3/20　春分の日

Ⅱ　履修の概要

Ⅱ　履修の概要

1　授業科目区分

本学では、次のとおり授業科目を区分し、教育課程を編成しています。

科目群ごとの区分は次のとおりですが、学部、学科によって内容、履修方法等が異なるので注意してください。

区分	分類	分野
共通科目群	基盤科目	外国語（英語、フランス語、ドイツ語、中国語、韓国語）、健康スポーツ科学、情報処理、キャリアデザイン、地域理解とリーダーシップ
	教養科目	人間と文化、自然と環境、社会と世界
専門科目群		
教職関連科目群		

2　単位について

単位とは、学修の量についての基準を示すものであり、教室内と教室外（図書館、自宅）などにおける合計45時間の学修をもって１単位としており、授業科目ごとに単位数が定まっています。授業の履修によりそれらを積み重ね、一定数の単位の修得をもって卒業の要件としています（卒業要件については当該年次ごとに記載）。

また、授業の形態によって教室内外での必要な学修時間数は、次の表のとおりです。

【１単位の修得に必要な学修時間】

授業の形態	教室内	教室外	合　計
講　義	15～30	30～15	45（時間）
演　習	15～30	30～15	45（時間）
実験・実習	30～45	15～０	45（時間）

通常、毎週行う講義・演習では、時間割の１コマ（90分）を上記の計算は２時間とみなしており、前期・後期（各15週）の１コマ授業であれば１～２単位（授業科目によって異なる。）修得できるようになっています。

（例）２時間（１コマ）×15週（半期）÷15時間（教室内学修）＝２単位

また、実験・実習は通常２コマ続けて授業があり、それを３時間として計算しています。

（例）３時間（２コマ）×15週（半期）÷45時間（教室内学修）＝１単位

なお、具体的には、各授業科目ごとに修得できる単位数が設定されていますので、「学科別授業一覧」を参照してください。

3　学期区分及び授業時間

４月から９月までが前学期、10月から翌年３月までが後学期であり、科目履修の１つの区切り日となっています。授業時間は次のとおりとなっています。

午　前		午　後	
１時限目	８：40～10：10	３時限目	12：50～14：20
２時限目	10：20～11：50	４時限目	14：30～16：00
		５時限目	16：10～17：40
		６時限目	18：00～19：30

なお、授業科目によって、夏季休業中などに日時を設定し、集中講義の形式で授業を行うこともあります。

4　試験について

⑴　試験の方法

通常は定期試験として前期末、後期末の２回行われますが、集中講義などの場合、臨時に行われることもあります。日程は掲示により示されます。また、レポート提出などの方法により行われることもあります。この他に、病気、怪我、就職試験の受験、忌引、不慮の災害その他やむを得ない事情により試験を受験できなかった場合、追試験を行うことがあります。追試験を希望する者は、当該授業科目の試験終了後７日以内に科目担当者の許可を得て、「追試験受験許可願」を教務入試課に提出してください。

また、受験の際は、必ず学生証を持参し、机上に提示しておかなければなりません。

学生は受験にあたっては、あらかじめ「熊本県立大学試験に関する規程」及び「定期試験の受験心得」を熟読しておいてください。

当該授業科目の開設される学期中に除籍され、停学に処され、退学し、又は休学した者に対しては、成績の認定は行われません。

⑵　成績の評価

次の５段階に評価されます。

秀	100点　～　90点	合格
優	89点　～　80点	
良	79点　～　70点	
可	69点　～　60点	
不可	59点以下	不合格

追試験の成績は得点の９割以下とし、再試験（試験に不合格だった者が再度受ける試験）の成績は、最高成績を合格最低成績60点とします。

秀・優・良、又は可の評価を受けた者は、その科目所定の単位が認定されます。不合格となった科目は、必要に応じ翌年度以降あらためて履修することとなります。

既に単位を修得した科目について、改めて履修手続きを経たうえで、再度履修することができます。

学業成績は、情報処理実習室のパソコンにより各自、教務システムで確認してください。確認ができるようになる期日については、学内掲示及び大学ホームページにより周知します。

5　履修登録手続きについて

基本的注意事項

⑴　履修登録は、単位を修得するために必要な手続きであり、これを怠ったり、誤ると単位が修得できないので慎重に行ってください。履修登録をしないで授業を受け、試験を受けても単位を修得できません。
⑵　次の授業科目は履修できないので注意してください。
　①　履修登録をしていない授業科目
　②　上級学年次に開設されている授業科目
　③　授業時間が重複する授業科目
⑶　履修登録期間終了後の登録はいっさい認められません。わからないことがあれば、必ず履修登録期間内に所属するゼミの教員、もしくは教務担当教員、学年担任等へ尋ねてください。
⑷　他の学部、学科の授業を履修したい場合は、「他学科等開講科目の履修願」に担当教員、教務委員などの承認を受け、教務入試課に提出してください。この場合に修得した単位は、定められた範囲内で卒業要件単位数に含むことができます。詳しくは卒業要件を参照してください。
⑸　当該授業科目が開講される学期中に休学した場合は、その授業科目の単位は修得できません。
⑹　通年の授業科目については、後半の学期の授業を先に受講しても単位は修得できません。
⑺　各演習・セミナー、卒業論文、教育実習についても、履修登録が必要です。
⑻　登録内容の確認を怠ったり、期限を守らなかった場合には、どのような履修上の不利益が生じても本人がその責任を負わなければなりません。
⑼　手続きに変更が生じた場合、その時点で掲示を行います。そのため、履修登録期間中は掲示を毎日見るようにしてください。

平成24年度以降入学者への注意事項（重要）

⑴　平成24年度から文学部でキャップ制（履修登録単位数の上限設定）が導入されています。これに伴い、24年度以降入学者は、１年次から３年次まで各年次44単位（前期・後期の合計単位数）を超えて履修登録することができません。（履修規程第２条の２第１項）。ただし、①教職に関する科目、②他学部他学科科目、③日本語・日本事情に関する科目、④インターンシップ、⑤ Intensive English（共通科目）は、キャップ制の除外科目です（履修規程第２条の２第２項）。
　キャップ制の趣旨は、履修科目について講義を受講するだけでなく、予習・復習により理解を深め、知識を確かなものにしてもらうことにあります。後期受講科目や集中講義を含めた年間の履修計画を立てて履修登録してください。

履修登録方法

⑴　本書、シラバス、前年度成績などを参考に、授業時間割と照合して１年間に履修する授業科目を決定し、その授業科目を後期分を含めて「履修計画表」に記入し、情報処理実習室のパソコンにより登録入力を行ってください。
⑵　履修登録期間中に登録入力を完了してください。入力前、履修計画表の次の事項を確認してください。
　①　必修科目、集中講義はもちろん、他にも履修科目の記入もれはないか。
　②　卒業論文や演習、教育実習の記入を忘れていないか。
　③　時間割番号に誤りはないか。
⑶　履修登録期間は授業開始後２週間程度しかないため、期限を厳守してください。
⑷　登録前に履修の手引（本書）、シラバスをよく読んでください。
⑸　履修登録期間以外の追加・変更登録は認められないので慎重に登録してください。
⑹　履修登録についての掲示を行いますので、履修登録期間中は毎日掲示を見てください。
⑺　履修登録者が教室の収容定員を超えた場合、履修者数の制限を行う場合があります。
　制限方法については、授業の中で説明しますので、必ず初回授業に出席してください。
⑻　その他：「Ｑ＆Ａ」（裏面）を参照してください。

履修登録についてのＱ＆Ａ

Ｑ１：どの科目を履修すべきか知りたいのですが。卒業要件についてききたいのですが。
Ａ１：本書の卒業要件の説明をよく読んだ上で、所属するゼミの教員、もしくは教務担当教員、学年担任等へお尋ねください。

Ｑ２：履修登録期間に登録するのを忘れてしまいました。期日経過後に受け付けてもらえますか。
Ａ２：追加・変更も含め受け付けません。「５　履修登録手続きについて」の、基本的注意事項の⑶及び⑺を参照してください。履修登録しなかった科目の単位は修得することができません。

Ｑ３：履修登録すべき科目やクラスなどが間違っていたことに履修登録後に気付いたのですが変更できますか。
Ａ３：履修登録期間中であれば変更できます。

Ｑ４：同じ曜日・時限に開講されている、複数の科目を受けたいのですが。
Ａ４：「５　履修登録手続きについて」の、基本的注意事項の⑵を参照してください。ただし、ともに隔週開講で１週おきに講義が行われる科目同士は受講が可能です。

Ｑ５：語学の再履修クラスと他の講義が同じ曜日・時限に開講されているのですが。
Ａ５：必修科目と重複している等、やむを得ない場合は学部の語学担当教員に相談してください。

Ｑ６：集中講義の履修登録をしたいのですが、開講時期が未定のものはいつ登録すればよいのですか。
Ａ６：集中講義も通常の履修登録期間に登録してください。
ただし、集中講義の日程を掲示した日から10日間及び集中講義の開講初日には、追加履修登録が可能になる場合があります。詳細については掲示を確認してください。
なお、集中講義の日程が一部でも重複した場合は、一方しか受講できなくなります。

Ｑ７：科目を登録しましたが、授業一覧に載っているものと違う科目名が登録されたのですが。
Ａ７：授業一覧の備考欄に「～と読替」と書いてある科目の場合、１年生が受講できる科目名が表示されますが、単位は授業一覧に記載された科目名に対して認定されます。

Ｑ８：教務システムでエラーが出るのですが。
Ａ８：主なエラーと、対処法は以下のとおりです。その他に新たなエラーが発生した場合は、対処方法について掲示を行うか教務システムのトップメニューに表示されるので確認してください。

・入力された条件に該当するユーザは存在しません
　→　ユーザ名に学生証の学籍番号（７桁の数字）を入力する。
・ユーザ名またはパスワードの入力に誤りがあります
　→　パスワードが間違っている。
・時間割が存在しません
　→　時間割番号が間違っている。もしくは時間割所属を自分の所属する学部か、「全学共通」に変更して再度登録を行ってみる。
・前回アクセスからの時間が規定時間を超えました
　→　ブラウザのウインドウを閉じ、再度ログインする。

Ｑ９：教務システムで分からないところがあるのですが。
Ａ９：ログイン画面以降についての問い合わせは教務入試課で受け付けます。中央コンピュータ室では回答できないので注意してください。また、エラーメッセージが表示された場合はメッセージの内容を正確に書きとめておいてください。正確なエラーメッセージが分からない場合は、質問に回答できない場合があります。

履修登録手続きフローチャート

授業科目決定	各自、シラバス、時間割、前年度成績（成績通知表）などを参考に１年間に履修する授業科目を決定する。

⬇

履修登録 前期授業開始日から10日間	各自、履修する授業科目（後期開講科目も含む）の登録を、情報処理実習室のパソコンで入力する。登録の内容は、各自履修登録画面前期で確認し、必ず各画面を印刷して保管する。 ２年次生は、自己判定で進級が可能かどうかの判定をする。 ３年次生は、自己判定で卒論履修が可能かどうかの判定をする。 ４年次生は、自己判定で卒業が可能かどうかの判定をする。

⬇

前期（通年）の履修科目確定

後期履修変更 後期授業開始日から10日間	各自、履修科目（後期開講科目のみ対象）の変更内容を、情報処理実習室のパソコンで入力する。登録の内容は、各自履修登録画面後期で確認し、必ず各画面を印刷して保管する。 ２年次生は、自己判定で進級が可能かどうかの判定をする。 ３年次生は、自己判定で卒論履修が可能かどうかの判定をする。 ４年次生は、自己判定で卒業が可能かどうかの判定をする。

⬇

後期の履修科目確定

6　ＧＰＡ制度について

ＧＰＡ（Grade Point Average）制度は、アメリカの大学で広く採用され、最近では日本でも多くの大学で導入されている成績評価システムです。本学でも、ＧＰＡ制度が適用されます。（熊本県立大学履修規程第10条）

⑴　本学のＧＰＡ算定方法

本学では、各科目毎の「秀、優、良、可、不可」の５段階の成績評価とは別に、授業科目毎の成績評価（試験の得点、得点は100点満点）に対し下記の計算式に基づきポイントを付与し、１単位当たりの平均を算出し、５点満点で表記します。

科目毎ＧＰ　＝(得点－50)÷10【ただし、得点が50以下のときは０とする。】

$$\text{学期毎ＧＰＡ} = \frac{[(\text{履修登録科目の単位数}) \times (\text{科目毎ＧＰ})] \text{の総和}}{(\text{履修登録科目の単位数}) \text{ の総和}}$$

$$\text{累　積ＧＰＡ} = \frac{[(\text{入学後の履修登録科目の単位数}) \times (\text{科目毎ＧＰ}) \text{ の総和}}{(\text{入学後の履修登録科目の単位数}) \text{ の総和}}$$

ＧＰＡは、５点満点で、小数点第１位まで表記（小数点第２位以下切り捨て）しています。ただし、成績優秀者表彰などで順位を出す必要がある場合は、小数点第２位以下まで算出しています。

⑵　ＧＰＡに算入しない科目（次に掲げる科目については、ＧＰＡ算定の対象外としています。）

①教職に関する科目、②他学部他学科科目、③日本語・日本事情、④インターンシップ、⑤食健康科学科の自由科目群（家庭科免許用）、⑥総合管理学部専門科目中の関連科目群（教職用）、⑦他大学等での履修科目

⑶　ＧＰＡと学生生活との関連について

①成績優秀者表彰

ＧＰＡが優秀な者に対して、大学から表彰を行います。

⑴　成績優秀賞　各学期において、ＧＰＡ算定対象科目を10科目以上修得し、かつＧＰＡが3.5以上で学科毎に上位５％以内の者

⑵　特別成績優秀賞　各学期において、ＧＰＡ算定対象科目を10科目以上修得し、かつ４学期連続してＧＰＡが4.0以上の者

⑶　学長賞　卒業時に卒業要件を４年間にすべて充足し、かつ累積ＧＰＡが4.0以上で、卒業論文（研究）を優秀な成績で修めた者のうち、学長が認める者

⑴と⑵の表彰式は６月（前年度後期分）と11月（当該年度前期分）の年２回開催されます。⑶の表彰は卒業式時に行われます。いずれも表彰状及び記念品が授与されます。

②成績不振者に対する個人指導

学期毎ＧＰＡが2.0未満の学生に対しては、担当教員から個人指導が行われます。

③その他

次のような場合にＧＰＡが利用されます。

１）上級学年配当科目の履修条件（総合管理学部のみ）　ＧＰＡ3.5以上の者、６単位

２）大学院科目の履修条件（一部の学部）　ＧＰＡ3.5以上の者

３）転学部転学科　所属する学部学科のＧＰＡ上位10％以内の者の算定

４）その他、授業料の減免や奨学金関係の成績要件等の判定

Ⅲ　履修について

Ⅲ　履修について

1　共通科目群について

学部４年間の教育課程（学士課程）において総合的に学ぶことで広い視野から認識・思考する能力を身につけ、「専門教育」で修得する学問を充実したものとする教育を行います。また、大学ユニバーサル化時代における「市民性」の涵養をも視野に入れます。以上を理念とし、次のような方針で編成しています。

- 共通科目群を【基盤科目】と【教養科目】に分ける。
- 【基盤科目】では、大学で学ぶための、また社会で行動していくための基礎能力を育成する教育を展開する。
- 【教養科目】では、専門分野の枠を超えて共通に求められる知識等を幅広く学び、様々な角度から物事を見ることができる能力を培うことで豊かな人間性を養う、いわゆる「教養教育」を展開する。

科目分野毎の目的は次のとおりです。

【基盤科目】

① 外国語

国際化の進展に伴い、発生する社会的諸問題もまた国際化する傾向にあり、これに対処するため、英語、ドイツ語、フランス語、中国語及び韓国語を置き、国際的なコミュニケーション能力の向上を目的とします。（次頁に詳細を説明）

② 健康スポーツ科学

自己の健康を自分自身で管理していくこと、また、健康維持や余暇活動に対するスポーツの有効性について理解を深めるとともに、生命のしくみや不思議さ・巧みさに関心を持ち、将来にわたり「からだと脳の健康」のために行動できる知識を得ることを目的とします。

③ 情報処理

今日の高度情報化社会において必要とされる情報ネットワークシステムに関する理解と情報機器の活用能力を修得し、あわせて情報モラルや情報セキュリティについて理解することを目的とします。

④ キャリアデザイン

大学生活がさまざまな分野で活躍する社会人としての自己実現のための一過程であることを認識し、主体的に自らのキャリアを構築していくための方法を学ぶことを目的とします。

⑤ 地域理解とリーダーシップ

地域への知識・理解を深め、他者と共生・協働する重要性を認識し、それらを基盤としながら発展的に応用し得る実践的能力を獲得することを目的とします。

【教養科目】

① 人間と文化

豊かな人間性を涵養するため、人間の本質に対する洞察を深め、精神的活動の所産としての文化を理解することを目的とします。

② 自然と環境

科学技術の基本的な原理や最先端の利用法に対する理解を深め、科学技術の現代社会及び環境問題とのかかわりについて多角的な考察を行うことを目的とします。

③ 社会と世界

法律、政治、経済、情報等様々な要因から規定されている社会が我々の生活にどのようにかかわっているのかを学ぶことを目的とします。また、グローバル化が進展する現代世界における経済問題・国際関係についての理解を通し、我が国の国際的位置付けや役割などについて考察し、国際人としての見識を養うことを目的とします。

＜英語＞

（全学的目標）

英語での対話を通して情報のやりとりを行い、また、新聞等の日常的文章を理解し、自分の考えを文章にできる。異文化に対する興味関心を持ち、自国文化と対照しながら、ものごとを考えることができる。

（習得すべき能力の具体的な目標）

＜日本語日本文学科＞

自己紹介から各自の専門、時事問題まで、自らの考えを平易な英語と聞き取りやすい発音でプレゼンテーションできるようになること、および、時間をかけてでも論理的な文章が読み解けるようになることを目標とする。

＜英語英米文学科＞

英語で「読む」、「聴く」、「書く」、「話す」の基礎的な４技能の獲得を目指す。その際、正確に英語を使うための知識・技能（質）と一度に多くの情報を処理する技能（量）のバランスの取れた能力の育成を目指す。同時にこの基礎的な４技能を学科の専門分野の研究に有機的に繋げていくことを目標とする。

上記目標達成のため、英語については、必修科目と選択科目の２種類が設けられています。必修科目である Basic English では、英語で「読む」、「聴く」、「書く」、「話す」の基礎的な４技能の獲得を目指し、学科別に以下の内容が設定されています。

（必修科目）

＜日本語日本文学科＞

科目名	開講時期	授業概要
Basic English Ⅰ Basic English Ⅱ	１年前期 １年後期	対話型の授業による４技能の基礎訓練を行い、基本的な技能及び基本語彙力、基本会話能力の育成を目指します。
Basic English Ⅲ Basic English Ⅳ	１年前期 １年後期	e-learning 型の授業による「読む」「聴く」に焦点を置いた基礎訓練を行い、基本語彙力も育成していきます。
Basic English Ⅴ Basic English Ⅵ	２年前期 ２年後期	対話型の授業による４技能の発展的な訓練を行い、技能及び語彙力を育成しながら、異文化理解を目指します。

＜英語英米文学科＞

科目名	開講時期	授業概要
Basic English Ⅰ Basic English Ⅱ	１年前期 １年後期	e-learningや多読型の授業による４技能の基礎力に焦点を置き、基本的な技能及び語彙力の育成を目指します。

（選択科目）

必修科目に加え、全学共通の「選択科目」が多数開講されています。Basic English で学ぶ基礎的なスキルに加え、さらに高度なコミュニケーション能力を身につけたい、あるいはビジネス、読解能力、プレゼンテーション等の特定のスキルについて力をつけたい学生を対象とした科目です。Intensive English は 1 年次からの履修が可能ですが、他の選択科目は Basic English Ⅰ，Ⅱ（日文は加えて同Ⅲ、Ⅳ）の基礎的な科目を終えてからの履修が望まれます。開講科目は以下のとおりです。

- Advanced English Ⅰ、Ⅱ
- English for Global Business Ⅰ～Ⅳ
- Language & Culture Ⅰ、Ⅱ
- Intensive English（集中講義）
- English for Studying Abroad
- Presentation English Ⅰ、Ⅱ
- Selected Readings in English

【各種検定試験について】

本人の希望により TOEIC®、TOEFL®、実用英語技能検定（英検）のスコアあるいは級による単位認定の申請が行われた場合には、以下の基準により単位認定します。

単位認定の対象となる科目	TOEIC®による取得点数	TOEFL®による取得点数			実用英語技能検定における合格級	修得できる単位数※1	評価
		Paper-based	Computer-based	Internet-based			
・Advanced English Ⅰ，Ⅱ ・English for Studying Abroad ・English for Global Business Ⅰ～Ⅳ ・Presentation English Ⅰ，Ⅱ ・Selected Readings in English	645点以上	520点以上	190点以上	68点以上	準１級	２単位	秀
	730点以上	550点以上	213点以上	79点以上		４単位	秀
	800点以上	577点以上	233点以上	90点以上	１級	６単位	秀

※１　上記の検定試験等の外部試験の対応する取得点数、合格級を得た場合に修得できる単位数を示す。但し、「English for Global Business Ⅲ」及び「English for Global Business Ⅳ」は次の取得点数以上の場合に単位認定の対象とする。

TOEIC®による取得点数	TOEFL®による取得点数		
	Paper-based	Computer-based	Internet-based
730点以上	550点以上	213点以上	79点以上

＜初修外国語＞

（全学的目標）

週１回90分の授業で、当該外国語を理解する最低限の初級文法と語彙を習得し、基本的表現を発信する能力を習得する。併せて異文化に対する理解を深める。

（習得すべき能力の具体的な目標）

上記の「全学的目標」を踏まえ、文学部ではより高度な学科の目標を以下のとおり設定している。

＜日本語日本文学科＞

１年次における週２回90分の授業で、日常的コミュニケーションを可能とする表現を習得するとともに、辞書の助けを得て、一般の文書を読み、また手紙等の文書を書くことができる能力を取得する。

＜英語英米文学科＞

１年次における週２回90分の授業で、日常的コミュニケーションを可能とする表現を習得するとともに、辞書の助けを得て、一般の文書を読み、また手紙等の文書を書くことができる能力を取得する。さらに、２年次における週１回90分の授業で、上記能力を、より多くの教材に触れることで安定化させ、確実なものとする。

初修外国語科目として、ドイツ語、フランス語、中国語及び韓国語が開設されています。各言語について、１年前期の「入門Ｂ」（初級、週２回）で初級レベルを終え、１年後期「基礎」（中級、週２回）へ進むことになっています。２年次には「発展Ⅰ・Ⅱ」（上級、週１回）が開講されています。「発展Ⅰ・Ⅱ」は「基礎」（中級）レベルを学習し終えていることを前提としています。日本語日本文学科は「基礎」まで、英語英米文学科では「発展Ⅰ・Ⅱ」までが必修です。各学部・学科によって卒業要件単位が異なるので注意してください。

文学部カリキュラムの概要（共通科目群）［平成27年度入学者］

				1学年		2学年		3学年		4学年		卒業に必要な単位数
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
共通科目群	基盤科目	外国語	日文	Basic English Ⅰ ① Basic English Ⅲ ①	Basic English Ⅱ ① Basic English Ⅳ ①	Basic English Ⅴ ①	Basic English Ⅵ ①					日文６単位
			英文	Basic English Ⅰ ①	Basic English Ⅱ ①							英文２単位
				（前期） Advanced English Ⅰ (1)，English for Studying abroad (1)，English for Global Business Ⅰ (1)，English for Global Business Ⅲ (1)，Presentation English Ⅰ (1)， Language and Culture Ⅰ (1) （後期） Advanced English Ⅱ (1)，English for Global Business Ⅱ (1)，English for Global Business Ⅳ (1)，Presentation English Ⅱ (1)，Selected Readings in English (1)， Language and Culture Ⅱ (1)，Intensive English (2)							
				フランス語入門Ａ Ⅰ (1) フランス語入門Ｂ (2) ドイツ語入門Ａ Ⅰ (1) ドイツ語入門Ｂ (2) 中国語入門Ａ Ⅰ (1) 中国語入門Ｂ (2) 韓国語入門Ａ Ⅰ (1) 韓国語入門Ｂ (2)	フランス語入門Ａ Ⅱ (1) フランス語基礎 (2) ドイツ語入門Ａ Ⅱ (1) ドイツ語基礎 (2) 中国語入門Ａ Ⅱ (1) 中国語基礎 (2) 韓国語入門Ａ Ⅱ (1) 韓国語基礎 (2)	フランス語発展Ⅰ (1) ドイツ語発展Ⅰ (1) 中国語発展Ⅰ (1) 韓国語発展Ⅰ (1)	フランス語発展Ⅱ (1) ドイツ語発展Ⅱ (1) 中国語発展Ⅱ (1) 韓国語発展Ⅱ (1)					日文４単位以上 英文６単位以上
				日本語日本文学科は英語を除く外国語から１言語４単位以上選択必修、英語英米文学科は英語を除く外国語から１言語６単位以上選択必修								
		健康スポーツ科学		健康とスポーツ科学 ②								３単位以上
				生涯スポーツ実習Ⅰ (1)	生涯スポーツ実習Ⅱ (1)							
				健康とスポーツ科学２単位は必修、生涯スポーツ実習Ⅰ１単位及び生涯スポーツ実習Ⅱ１単位から１科目１単位以上選択必修								
		情報処理		情報処理入門 ②								２単位
		キャリアデザイン		プレゼミナール ① キャリア形成論 ①	インターンシップ１～７［各１］ ※自由科目とし卒業要件の単位数には含めない							２単位
		地域理解とリーダーシップ		もやいすと（地域）ジュニア育成 (2)，もやいすと（防災）ジュニア育成 (2)								２単位以上
				もやいすと（地域）ジュニア育成２単位及びもやいすと（防災）ジュニア育成２単位から１科目２単位以上選択必修								
				減災リテラシー入門 (2)								
						もやいすとシニア育成 (2)						
				新熊本学：ことば、表現、歴史 (2)，新熊本学：熊本の生活と環境 (2)，新熊本学：地域のビジネスリーダーに学ぶ (2)，新熊本学：地域社会と協働 (2)								２単位以上
				新熊本学全４科目８単位から、１科目２単位以上選択必修								
	教養科目	人間と文化		哲学の基礎 (2)，科学の思想 (2)，人間と宗教 (2)，心理学入門 (2)，人権と文化 (2)，人間と教育 (2)，現代世界と歴史 (2)，近代日本の歩み (2)，現代の文学 (2)，人間と芸術 (2)， 西洋文化圏の理解 (2)，東アジア文化圏の理解 (2)								２単位以上
				全12科目24単位から、１科目２単位以上選択必修								
		自然と環境		環境と生物圏 (2)，エネルギーと社会 (2)，海の生物資源 (2)，人間と植物生産 (2)，暮らしの中の化学技術 (2)，環境と生きる (2)，住まいと地域環境 (2)，食と健康 (2)								２単位以上
				全８科目16単位から、１科目２単位以上選択必修								
		社会と世界		現代の国際関係 (2)，世界の経済 (2)，国際協力論 (2)，生活と憲法 (2)，現代社会と政治 (2)，現代社会と法律 (2)，情報と社会 (2)，マスメディア論 (2)，現代社会と企業 (2)								２単位以上
				全９科目18単位から、１科目２単位以上選択必修								
	日本語日本文学科は上記の27単位の他に８単位以上を修得し併せて35単位以上を修得し、英語英米文学科は上記の25単位の他に６単位以上を修得し併せて31単位以上を修得すること。											日文８単位以上 英文６単位以上
	共通科目群合計											日文35単位以上 英文31単位以上
専門科目群				必修科目及び選択必修科目を含め、日本語日本文学科は83単位以上、英語英米文学科は86単位以上を修得すること。（専門科目群の説明を参照のこと）								日文83単位以上 英文86単位以上
自由選択単位				日本語日本文学科は７単位以上、英語英米文学科は８単位以上選択必修（自由選択科目の説明を参照のこと）								日文７単位以上 英文８単位以上
合計				必修科目及び選択必修科目を含め125単位以上を修得すること。								日文125単位以上 英文125単位以上

（注）○は必修科目、（ ）は選択必修科目、［ ］は自由科目の単位数を表します。開設時（前期、後期）は変更されることがあります。

2　日本語日本文学科の教育課程紹介

日本語日本文学科では、日本語や日本文学に関心を抱く学生がより高度な専門知識を身につけ、その豊かな感受性を存分に開花させることを願って、共通科目群や学部共通科目との連携の上に、日本語学・日本文学・日本語教育の主要科目との教職科目を設定して様々な需要に応える態勢をとっています。

本学科には、卒業論文履修分野として日本語学・日本文学・日本語教育・地域文化・人文学の５分野があります。分野とは、卒業論文の作成にむけて、必修科目の他にどのような科目を選択・履修してゆけば、その具体的な知識や能力が得られるのかを示した、大まかな道筋のことです。本学科学生としての共通の必修科目や必修単位数はありますが、半分以上の単位は学生の選択に任されています。自分の適性・卒業論文の分野・卒業後の進路等を考えて５つの分野のいずれかに重点を置いた授業選択をしてほしいと思います。したがって、入学後はただ漫然と過ごすのではなく、自分の関心にあわせた授業選択をしながら、２年次以降に専攻する分野のイメージを固めていくことが重要です。

日本語学分野は、ことばについて研究したい、研究をしようという人の分野です。アプローチのしかたはいろいろです。大きく見渡しても、文法、日本語の歴史、語彙、表記、辞書、方言と、様々な角度から取り組むことができます。

日本文学分野は、日本の古代から近現代にいたる文学作品を研究します。実際には、研究領域の拡大にともない、あらゆる文献・書物が研究対象といってもよいでしょう。読書の形態、学問の歴史、造本・書写・印刷など書物に関する研究なども、対象とみなします。

日本語教育分野は、日本語教師を目指す人のための専門的な分野です。プロ意識に裏打ちされた実践的な教授能力があり、現代日本語の音声と文法を客観的に分析し、研究のできる日本語教師の養成を目指しています。

地域文化分野は、地域のことばや文化・歴史を学びながら、フィールドワークなどを通じて体験的に知識を深化させていき、文献資料を基礎に地域を研究することをめざす分野です。提供されるプログラムは専ら熊本を対象としたものですが、卒業論文では関心にあわせた対象地域を選んで研究ができます。

人文学分野は、日本のことばや文学を、異文化、異言語との比較の観点から掘り下げようという場合、あるいは歴史学や思想史とかかわらせながら探究したい人のための分野です。

本学科の授業は、下級生向けには、基本的なもの、広い範囲を扱う「概論」や「基礎論」、上級生向けには、特殊な問題を深く掘り下げる「演習」や「特殊研究」が多く配置されています。すなわち、まずは「概論」や「基礎論」などで基本的な知識や方法論を身に付け、次に「演習」において研究対象を深く掘り下げて考える実践的訓練を積み、さらに「特殊研究」において教員の専門とする分野の細かい指導を受けながら卒業論文を作成する、という手順になっています。また、研究テーマの確定やその調査研究はじっくりと時間をかけて行う必要があるため、「演習」や「特殊研究」は同一教員の科目を複数年次わたって受講できるようになっています。（但し分野により違いがあります。また、人数が多すぎる場合は制限されることもあります。）

【日本語日本文学科の卒業要件単位数、開講科目一覧表及び履修上の注意】

1　25頁の「卒業要件単位数」表の専門科目の部分を詳細に説明したものが31頁の「日本語日本文学科カリキュラムの概要」です。履修上の注意を参考によく読んで、単位の取り落としのないように気をつけてください。

2　教員免許関係と日本語教育関係の科目・単位については当該ページを参照。多くは本学科の主要科目に含まれていますが、学部共通科目から選択履修しなければならない科目もあるので注意してください。

⑴　日本語日本文学科の進級要件

ア　２年次までに、合計50単位以上修得しなければ３年に進級できません。

イ　卒業論文の履修資格は、卒業予定年次の前年度末において共通科目群及び専門科目群にわたって合計80単位以上を修得し、学年末に卒業見込みの者に与えられます。

⑵　日本語日本文学科の卒業要件

４年以上在学し、次の単位数以上を修得しなければなりません。

区分	分類	分野			卒業要件単位数 必修単位数	選択必修単位数	選択単位数
共通科目群ａ	基盤科目	外国語	Basic English Ⅰ～Ⅵ	b	6	－	－
			英語以外の外国語	c	－	4	※その他の単位（左の他に８単位を修得）
			ｂとｃ以外の科目（Basic English 以外の英語科目）	d	－	－	
		健康スポーツ科学		e	2	1	
		情報処理		f	2	－	
		キャリアデザイン		g	2	－	
		地域理解とリーダーシップ	もやいすと（地域）ジュニア育成 もやいすと（防災）ジュニア育成	h	－	2	
			新熊本学	i	－	2	
			ｈとｉ以外の科目	j	－	－	
	教養科目	人間と文化		k	－	2	
		自然と環境		l	－	2	
		社会と世界		m	－	2	
	小計（A）				12	15	8
					35		
専門科目群①	人文基礎			②		4	左の他12単位を修得
	主要科目			③	25	12	
	学部共通科目			④		8	
	演習			⑤		12	
	特殊研究			⑥		4	
	卒業論文			⑦	6		
	小計（B）				31	40	12
					83		
自由選択単位ア	共通科目（Aを超える単位）			イ			7
	専門科目（Bを超える単位）			ウ			
	他学部・他学科の専門科目			エ			
	小計（C）						7
合計（A）＋（B）＋（C）					125		

『共通科目群』

ａ　必修科目12単位、指定された選択必修科目15単位、それ以外に共通科目群の選択科目より８単位（その他の単位：共通科目群ａの※部分）の合計35単位以上を修得すること。

ｂ　英語は「Basic English Ⅰ」から「Basic English Ⅵ」の６科目６単位を必修とする。

ｃ　英語以外の外国語は、ドイツ語、フランス語、中国語及び韓国語（それぞれ入門ＡⅠ、入門ＡⅡ、入門Ｂ、基礎、発展Ⅰ、発展Ⅱ）から１言語４単位以上を選択必修。文学部の学生は１年前期で「入門Ｂ」を、後期で「基礎」を履修すること。

ｄ　ｂとｃ以外の外国語（13科目14単位）を修得した場合はその他の単位もしくは自由選択単位アのイに含む。

ｅ　「健康とスポーツ科学」は必修とし、「生涯スポーツ実習Ⅰ」「生涯スポーツ実習Ⅱ」から１科目１単位を選択必修とする。

ｆ　「情報処理入門」は必修とする。

ｇ　「プレゼミナール」「キャリア形成論」は必修とする。

ｈ　「もやいすと（地域）ジュニア育成」「もやいすと（防災）ジュニア育成」から１科目２単位を選択必修とする。

ｉ　新熊本学は４科目８単位から１科目２単位を選択必修とする。

ｊ　地域理解とリーダーシップのｈとｉ以外の科目（２科目４単位）を修得した場合はその他の単位もしくは自由選択単位アのイに含むことができる。

ｋ，ｌ，ｍ　各分野からそれぞれ１科目２単位以上を選択必修とする。

『専門科目群』①は、②人文基礎中の４単位、③主要科目中の必修科目25単位及び選択必修科目12単位、④学部共通科目中の８単位、⑤演習中の12単位、⑥特殊研究中の４単位並びに⑦卒業論文６単位を含む、合計83単位以上を修得すること。ただし、⑤の演習12単位中に必ず日本語学（含む日本語教育）及び日本文学に関わるものをそれぞれ各４単位以上含むこととする。なお、②～⑦を合わせると71単位であり、専門科目群の必要単位数83単位には不足する。この足りない12単位は、②～⑥のいずれからでも選択できる。

『自由選択単位』アとは、共通科目群の必要単位数35単位と専門科目群の必要単位数83単位を合わせても118単位であり、卒業に必要な単位数の125単位に不足する。この足りない７単位を、自由選択単位として、イ、ウ、エのいずれからでも選択できるようにするものである。

イ　共通科目群の必要単位数35単位を超えて修得した単位数。

ウ　専門科目群の必要単位数83単位を超えて修得した単位数。

エ　所属学科の専門科目群に含まれていない他学部・他学科の専門科目の単位を自由選択単位の中に含めることができる。（履修方法等は「※他学部・他学科開講科目の履修について」を参照。）

【日本語日本文学科一年生履修ガイド】

以下に示すのは、１年次対象に開講されている主要講義を、時間割に配置したものです。表下の注意をよく読んで、個々の関心や予定する研究テーマ・資格にあわせて時間割を組み履修してください。履修予定の個々の科目の単位数をよく確認し、年間をとおして44単位に収まるよう気をつけて選びましょう。

前期

前	1	2	3	4	5
月			教養科目 地域理解と リーダーシップ		**情報処理入門（日）**
火	**健康とスポーツ科学**	Basic English Ⅰ	教養科目 地域理解と リーダーシップ		**プレゼミナール**
水	歴史基礎論 日本語教授法Ⅰ		教養科目 地域理解と リーダーシップ	**日本語学概論Ⅰ**	Basic English Ⅰ
木	**初修外国語**	**文献学基礎論**	生涯スポーツ実習Ⅰ	生涯スポーツ実習Ⅰ	地域文献講読Ⅰ
金	**初修外国語**		Basic EnglishⅢ	**古典文学史Ⅰ**	**キャリア形成論**

時間枠外

地域踏査演習（前期に事前学習・夏季休業中に実地踏査を実施予定。詳しくは掲示により連絡）
漢文学史（集中講義、詳しくは掲示により連絡）

注意事項

１．授業科目名がゴシックで記されている科目は、必修科目です。また、１年次で履修しておくことが好ましい科目です。

２．アンダーラインの科目は、履修選択のうえで注意を要する科目です。

・歴史基礎論…４科目の中から２科目を選んで履修しなければならない、人文基礎科目の１つです。
２年次でも履修は可能ですが、日本語教授法と重なっているため、それらも履修したい場合には、２年次あるいは３年次にまたがる計画を立てて選ぶ必要があります。

・生涯スポーツ実習…できるだけ学科として指定された時間帯の方で受講してください。

後期

後	1	2	3	4	5
月	地域理解と リーダーシップ	日本語教授法Ⅱ	教養科目 地域理解と リーダーシップ		情報処理実習(日)
火	言語基礎論	Basic EnglishⅡ	教養科目 地域理解と リーダーシップ		
水	Basic EnglishⅡ	地域文献講読Ⅱ	教養科目 地域理解と リーダーシップ	**日本語学概論Ⅱ**	**文学研究法基礎**
木	**初修外国語**		生涯スポーツ実習Ⅱ	生涯スポーツ実習Ⅱ	**近代文学史**
金	**初修外国語**		Basic EnglishⅣ		

・情報処理実習…必修ではありませんが、情報処理技術を身につけるためには、早い時期に履修することが望まれます。
・言語基礎論…４科目の中から２科目を選んで履修しなければならない、人文基礎科目の１つです。

【日本語日本文学科履修モデル】

以下に示すのは、標準的な履修パターンに沿った科目選択の考え方です。これをもとに個々の関心や予定する研究テーマにあわせて、自分で組合せを選んで履修してください。

2年次

２年次配当の必修科目
＋
４年次の研究テーマを考慮した選択必修科目、学習時間のバランス・進級要件を考えた履修科目数
（その際に）
演習は１年で２科目程度が望ましい。ただし、語学分野（含む日本語教育学）と文学分野を各４単位以上、最終年次までに計12単位以上修得することが卒業要件となっています。
教職をめざす人は、２年次配当の教職科目を、
地域文化分野を学ぼうとする人は、「方言学基礎論」「地域文化研究」「地域文献講読Ⅱ」を優先して、科目選択を行いましょう。

3年次

３年次配当の必修科目
＋
４年次の研究テーマを念頭においた「演習」「特殊研究」の選択。また、卒業要件を考慮した履修科目数。
＋
教職を目指す人は、３年次配当の教職科目

日本語日本文学科　履修上の注意

以下は、何を中心に学びたいかをもとに、履修のモデルとして分野設定をしたものです。各分野ごとに、必修科目以外で履修しておくことが望ましい科目を示しました。これらを中心としながら、他の科目からも幅広く履修してください。

1　日本語学分野

◇主要科目
　日本語学関連科目
◇学部共通科目
　日本語教育及び日本文化関連科目
◇演習
　日本語学関連科目と日本文学関連科目
◇特殊研究
　卒論指導教員の担当科目

2　日本文学分野

◇主要科目
　日本文学関連科目
◇学部共通科目
　日本文化及び中国文化関連科目
◇演習
　日本文語学関連科目と日本語学関連科目（含む日本語教育関連科目）
◇特殊研究
　卒論指導教員の担当科目

3　日本語教育分野

◇主要科目
　日本語教育関連科目
◇学部共通科目
　言語基礎論、現代日本語の分析、日本語教育関連科目
◇演習
　日本語教育、日本語学関連科目、日本文学関連科目
◇特殊研究
　卒論指導教員の担当科目

4　地域文化分野

◇主要科目
　方言学基礎論、地域文献講読Ⅰ・Ⅱ、地域踏査演習
◇学部共通科目
　地域文化研究Ⅰ～Ⅳ、歴史学講義Ⅰ・Ⅱ
◇演習
　関心のある分野・時代に合わせて選択、日本語学・日本文学関連科目
◇特殊研究
　卒論指導教員の担当科目
　＊その他、教養科目群の地域理解（新熊本学）の履修、各種フィールドワークへの積極的参加が望ましい。

5　人文学分野

◇学部共通科目
　人文学概論、卒論領域及び隣接領域関連講義
◇演習
　卒論領域及び隣接領域関連演習、日本語学、日本文学関連科目
◇特殊研究
　卒論指導教員の担当科目

日本語日本文学科カリキュラムの概要（専門科目群）［平成27年度入学者］

授業科目名右横の〇数字は必修科目、（ ）数字は選択必修科目の単位数を表す。

区分		履修要件	1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期
専門科目群（八十三単位以上）	人文基礎	4単位以上	歴史基礎論(2)	言語基礎論(2)	文学研究への招待(2)	知識と方法(2)				
	主要科目 日本語学	必修科目24単位及び選択必修科目12単位以上	日本語学概論Ⅰ②	日本語学概論Ⅱ②	日本文法Ⅰ②	日本文法Ⅱ②	日本語史Ⅰ②	日本語史Ⅱ②		
					方言学基礎論(2)	現代日本語の分析(2)②		日本語学史(2)		
	日本文学		文献学基礎論②	文学研究法基礎②	中世文学購読(2)〈隔年〉	古典文学史Ⅱ②				
			古典文学史Ⅰ②	地域文献購読Ⅰ(2)〈隔年〉	地域文献購読Ⅱ(2)〈隔年〉	近世文学購読(2)〈隔年〉				
			近代文学購読(2)〈隔年〉	近代文学史②	漢文学史(2)					
	日本語教育		日本語教授法Ⅰ(2)	日本語教授法Ⅱ(2)	日本語教授法Ⅲ(2)	日本語教授法Ⅳ(2)				
	関連分野		地域踏査演習①		古典文化研究Ⅰ(2)	古典文化研究Ⅱ(2)				
			書道Ⅰ（講義）(2)		言語文化研究Ⅰ(2)〈Ⅲと隔年〉	言語文化研究Ⅱ(2)	言語文化研究Ⅲ(2)〈Ⅰと隔年〉	日本古典文化論Ⅰ(2)〈Ⅱと隔年〉		
			書道Ⅱ（実技）(2)		近代文化研究(2)	近代地域文化研究(2)				
			※中学校国語教員にのみ必修		アカデミックスキルⅠ(2)	アカデミックスキルⅡ(2)				
	学部共通科目	8単位以上		情報処理実習(1)	日本文化論Ⅰ(2)	日本文化論Ⅱ(2)	中国文学史(2)	中国文学史Ⅱ(2)		
					人文学概論(2)	西洋文化史Ⅱ(2)	日中比較文学Ⅰ(2)	日中比較文学Ⅱ(2)		
					西洋文化史Ⅰ(2)	地域文化研究Ⅱ(2)	日本語教育教材研究(2)〈隔年〉	思想史講義Ⅱ(2)〈Ⅰと隔年〉		
					地域文化研究Ⅰ(2)	思想史講義Ⅰ(2)〈Ⅱと隔年〉	日本語教育評価法(2)〈隔年〉	歴史学講義Ⅱ 〈Ⅰと隔年〉		
					文化人類学(2)	歴史学講義Ⅰ〈Ⅱと隔年〉	心理学講義Ⅰ〈Ⅱと隔年〉	中国文化論Ⅱ(2)〈Ⅰと隔年〉	心理学講義Ⅱ〈Ⅰと隔年〉	
						中国文化論Ⅰ(2)〈Ⅱと隔年〉	教育学講義Ⅰ〈Ⅱと隔年〉	フランス語圏文化Ⅱ(2)〈Ⅰと隔年〉	教育学講義Ⅱ〈Ⅰと隔年〉	
						フランス語圏文化Ⅰ(2)〈Ⅱと隔年〉		比較文学講義Ⅱ(2)〈Ⅰと隔年〉		
						比較文学講義Ⅰ(2)〈Ⅱと隔年〉	英米詩概論Ⅰ(2)〈隔年〉	英米詩概論Ⅱ(2)〈隔年〉		
					英文学史Ⅱ(2)	英文学史Ⅰ(2)	英語史Ⅰ(2)	英語史Ⅱ(2)		
					米文学史Ⅰ(2)	米文学史Ⅱ(2)	異文化コミュニケーション論Ａ			
					英語学概論Ⅰ(2)	英語学概論Ⅱ(2)	Ⅰ(2)〈Ⅱと隔年〉			
				英文法Ⅰ(2)	英文法Ⅱ(2)	英文法Ⅲ(2)				
	演習 日本語学	12単位以上			日本語学演習Ⅰ(4)〈ⅠⅢと3年毎〉		日本語学演習Ⅱ(4)〈ⅠⅢと3年毎〉		日本語学演習Ⅲ(4)〈ⅠⅡと3年毎〉	
					日本語学演習Ⅳ(4)〈ⅤⅥと3年毎〉		日本語学演習Ⅴ(4)〈ⅣⅥと3年毎〉		日本語学演習Ⅵ(4)〈ⅣⅤと3年毎〉	
					日本語学演習Ⅶ(4)〈ⅧⅨと3年毎〉		日本語学演習Ⅷ(4)〈ⅦⅨと3年毎〉		日本語学演習Ⅸ(4)〈ⅦⅧと3年毎〉	
					日本語学演習Ⅹ(2)					
	日本文学				古代文学演習Ⅰ(4)〈ⅠⅢと3年毎〉		古代文学演習Ⅱ(4)〈ⅠⅢと3年毎〉		古代文学演習Ⅲ(4)〈ⅠⅡと3年毎〉	
					中近世文学演習Ⅰ(4)〈ⅠⅢと3年毎〉		中近世文学演習Ⅱ(4)〈ⅠⅢと3年毎〉		中近世文学演習Ⅲ(4)〈ⅠⅡと3年毎〉	
					近代文学演習Ⅰ(4)〈ⅠⅢと3年毎〉		近代文学演習Ⅱ(4)〈ⅠⅢと3年毎〉		近代文学演習Ⅲ(4)〈ⅠⅡと3年毎〉	
					複合演習Ⅰ(2)〈Ⅲと隔年〉	複合演習Ⅱ(2)〈Ⅳと隔年〉	複合演習Ⅰ(2)〈Ⅲと隔年〉	複合演習Ⅱ(2)〈Ⅳと隔年〉	複合演習Ⅰ(2)〈Ⅲと隔年〉	複合演習Ⅱ(2)〈Ⅳと隔年〉
					日本文学演習Ⅰ(2)	日本文学演習Ⅱ(2)	日本文学演習Ⅰ(2)	日本文学演習Ⅱ(2)	日本文学演習Ⅰ(2)	日本文学演習Ⅱ(2)
	日本語教育				日本語教育演習Ⅰ(4)〈ⅠⅢと3年毎〉		日本語教育演習Ⅱ(4)〈ⅠⅢと3年毎〉		日本語教育演習Ⅲ(4)〈ⅠⅡと3年毎〉	
						日本語教育演習Ⅳ(2)				
	人文学						歴史学演習Ⅰ(2)〈Ⅲと隔年〉	歴史学演習Ⅱ(2)〈Ⅳと隔年〉	歴史学演習Ⅲ(2)〈Ⅰと隔年〉	歴史学演習Ⅳ(2)〈Ⅱと隔年〉
							思想史演習Ⅰ(2)〈Ⅲと隔年〉	思想史演習Ⅱ(2)〈Ⅳと隔年〉	思想史演習Ⅲ(2)〈Ⅰと隔年〉	思想史演習Ⅳ(2)〈Ⅱと隔年〉
								心理学演習Ⅰ(2)〈Ⅱと隔年〉		心理学演習Ⅱ(2)〈Ⅰと隔年〉
								教育学演習Ⅰ(2)〈Ⅱと隔年〉		教育学演習Ⅱ(2)〈Ⅰと隔年〉
							言語学演習Ⅰ(2)	言語学演習Ⅱ(2)		
							中国文化論演習Ⅰ(2)〈Ⅲと隔年〉	中国文化論演習Ⅱ(2)〈Ⅳと隔年〉	中国文化論演習Ⅲ(2)〈Ⅰと隔年〉	中国文化論演習Ⅳ(2)〈Ⅱと隔年〉
							フランス語圏文化演習Ⅰ(2)〈Ⅲと隔年〉	フランス語圏文化演習Ⅱ(2)〈Ⅳと隔年〉	フランス語圏文化演習Ⅲ(2)〈Ⅰと隔年〉	フランス語圏文化演習Ⅳ(2)〈Ⅱと隔年〉
							比較文学演習Ⅰ(2)〈Ⅲと隔年〉	比較文学演習Ⅱ(2)〈Ⅳと隔年〉	比較文学演習Ⅲ(2)〈Ⅰと隔年〉	比較文学演習Ⅳ(2)〈Ⅱと隔年〉
								異文化コミュニケーション演習Ⅰ(2)〈Ⅱと隔年〉		異文化コミュニケーション演習Ⅰ(2)〈Ⅱと隔年〉
	特殊研究 日本語学	4単位以上					日本語学特殊研究Ⅰ(4)〈Ⅱと隔年〉		日本語学特殊研究Ⅱ(4)〈Ⅰと隔年〉	
							日本語学特殊研究Ⅲ(4)〈Ⅳと隔年〉		日本語学特殊研究Ⅳ(4)〈Ⅲと隔年〉	
							日本語学特殊研究Ⅴ(4)〈Ⅵと隔年〉		日本語学特殊研究Ⅵ(4)〈Ⅴと隔年〉	
	日本文学						古代文学特殊研究Ⅰ(4)〈Ⅱと隔年〉		古代文学特殊研究Ⅱ(4)〈Ⅰと隔年〉	
							中世文学特殊研究Ⅰ(4)〈Ⅱと隔年〉		中世文学特殊研究Ⅱ(4)〈Ⅰと隔年〉	
							近代文学特殊研究Ⅰ(4)〈Ⅱと隔年〉		近代文学特殊研究Ⅱ(4)〈Ⅰと隔年〉	
	日本語教育						日本語教育特殊研究Ⅰ(4)〈Ⅱと隔年〉		日本語教育特殊研究Ⅱ(4)〈Ⅰと隔年〉	
	人文学								思想史特殊研究Ⅰ(2)	思想史特殊研究Ⅱ(2)
									心理学特殊研究Ⅰ(2)	心理学特殊研究Ⅱ(2)
									中国文化論特殊研究Ⅰ(2)	中国文化論特殊研究Ⅱ(2)
									言語学特殊研究Ⅰ(2)	言語学特殊研究Ⅱ(2)
									歴史学特殊研究Ⅰ(2)	歴史学特殊研究Ⅱ(2)
									比較文学特殊研究Ⅰ(2)	比較文学特殊研究Ⅱ(2)
									フランス語圏文化特殊研究Ⅰ(2)	フランス語圏文化特殊研究Ⅱ(2)
									教育学特殊研究Ⅰ(2)	教育学特殊研究Ⅱ(2)
									異文化コミュニケーション特殊研究Ⅰ(2)	異文化コミュニケーション特殊研究Ⅱ(2)
	卒業論文	6単位							卒業論文⑥	

※卒業には125単位以上修得が必要（内訳：共通科目群から35単位以上、専門科目群から卒業論文6単位を含む83単位以上、自由選択単位7単位）。卒業要件の詳細については、24頁～30頁をよく読むこと。

（注）〇は必修科目、（ ）は選択必修科目です。

3　英語英米文学科の教育課程紹介

今日の世界情勢において国際言語としての英語がもつ有用性は改めて強調するまでもないことでしょう。この自覚にたって、英語英米文学科のカリキュラムは「読む・書く・話す・聴く」の基本的な能力をバランスよく培うことを基礎に置いています。

Integrated Skills, Paragraph Writing, College Writing, Academic Reading Skills、Extensive Reading and Listening はこの目的のために１・２年次に位置づけられている科目です。英語コミュニケーション能力を身に付けることを目標とした基礎的な授業が１年次から始まります。

こうした英語運用能力の養成は４年間を通して継続的・段階的に行われますが、これと並行して、１年次から、英語の発音の仕方、英文学及び米文学講読、英文法、２年次になると、文学史、英語の言語学的分析、３年次には英語の歴史を勉強します。同時に、欧米の歴史、思想を学ぶことを通して英文学、米文学、英語の学習がより大きな展望の中で効果的に行われるように配慮されています。共通科目群や学部共通科目との連携の上に、主要科目と教職科目を設定して様々な需要に応える態勢をとっています。

本学科には、卒業論文履修分野として「英語学」「英文学」「米文学」「英語教育」「日本語教育」「人文学」の６つの分野があります。学生一人一人が自主的に学習計画を立て、興味を持つ分野を自ら進んで追求することが期待されています。

英語学分野では、言語学の知見を踏まえて英語の語彙、音韻、文法、意味、談話、情報構造、スタイル等について学び、現代英語の理解を深めます。また、英語と日本語を対照させながら、人間の認知と言語の関係を探究します。

英文学分野では、イギリスの文化・歴史・社会・思想などを踏まえて、1,000年以上に及ぶイギリスの文学、とりわけ、シェイクスピアからジェイン・オースティンやディケンズを経て、ノーベル賞詩人シェイマス・ヒーニーまでを具体的に学びます。

米文学分野では、小説、戯曲、詩などを精読し、作品そのものだけでなく、文学作品と思想・歴史・文化・社会等との関連を見たり、時には、取り上げた作品に関する文献なども使用して、作品や文学への理解を深めます。

英語教育分野は、英語が習得される過程や習得を促す要因について考察する第二言語習得研究や、効果的な英語の指導法や英語教育のあり方を考察する英語教授法研究、そして英語学習・教育にコンピュータを使用する手法や効果について考察する研究を行います。

日本語教育分野は、外国人に日本語を教えるための諸問題と技術を研究する分野です。

人文学分野は、英語学・英米文学・英語教育などの知識𥳑、比較や総合といった知見に立って、哲学、心理学、教育学、歴史学、言語学、様々な文学・文化の領域に広く展開し、多角的に研究する分野です。

以上の分野の研究内容に基づいて、３年次に開講される演習で各分野の専門知識や研究方法を徹底的に学びます。さらに４年次に開講される各分野の特殊研究では、３年次の演習で学んだ専門分野の知識を更に卒業論文に結実させるべく深めることが目的とされています。

【英語英米文学科の卒業要件単位数、開講科目一覧表及び履修上の注意】

① 33頁の「卒業要件単位数」表の専門科目の部分を詳細に説明したものが38頁の「英語英米文学科カリキュラムの概要」です。履修上の注意を参考によく読んで、単位の取り落としのないように気をつけてください。

② 教員免許関係の科目・単位については当該頁を参照してください。

⑴　英語英米文学科の進級要件

ア　２年次までに、合計50単位以上修得しなければ３年に進級できません。

イ　卒業論文の履修資格は、卒業予定年次の前年度末において共通科目群及び専門科目群にわたって合計80単位以上を修得し、学年末に卒業見込みの者に与えられます。

⑵　英語英米文学科の卒業要件

４年以上在学し、次の単位数以上を習得しなければなりません。

<table>
<tr><th rowspan="2">区分</th><th rowspan="2">分類</th><th rowspan="2" colspan="3">分野</th><th colspan="3">卒業要件単位数</th></tr>
<tr><th>必修
単位数</th><th>選択必修
単位数</th><th>選択
単位数</th></tr>
<tr><td rowspan="12">共通科目群ａ</td><td rowspan="9">基盤科目</td><td rowspan="3">外国語</td><td>Basic English Ⅰ，Ⅱ</td><td>ｂ</td><td>2</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>英語以外の外国語</td><td>ｃ</td><td>－</td><td>6</td><td rowspan="9">※その他の単位
（左の他に
6単位を修得）</td></tr>
<tr><td>ｂとｃ以外の科目
(Basic English 以外の英語科目)</td><td>ｄ</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="2">健康スポーツ科学</td><td>ｅ</td><td>2</td><td>1</td></tr>
<tr><td colspan="2">情報処理</td><td>ｆ</td><td>2</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャリアデザイン</td><td>ｇ</td><td>2</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="3">地域理解と
リーダーシップ</td><td>もやいすと（地域）ジュニア育成
もやいすと（防災）ジュニア育成</td><td>ｈ</td><td>－</td><td>2</td></tr>
<tr><td>新熊本学</td><td>ｉ</td><td>－</td><td>2</td></tr>
<tr><td>ｈとｉ以外の科目</td><td>ｊ</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="3">教養科目</td><td colspan="2">人間と文化</td><td>ｋ</td><td>－</td><td>2</td></tr>
<tr><td colspan="2">自然と環境</td><td>ｌ</td><td>－</td><td>2</td></tr>
<tr><td colspan="2">社会と世界</td><td>ｍ</td><td>－</td><td>2</td></tr>
<tr><td colspan="3" rowspan="2">小計（A）</td><td>8</td><td>17</td><td>6</td></tr>
<tr><td colspan="3">31</td></tr>
<tr><td rowspan="7">専門科目群①</td><td colspan="3">人文基礎</td><td>②</td><td></td><td>4</td><td rowspan="5">左の他
20単位を修得</td></tr>
<tr><td colspan="3">主要科目</td><td>③</td><td>40</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">学部共通科目</td><td>④</td><td></td><td>8</td></tr>
<tr><td colspan="3">演習</td><td>⑤</td><td></td><td>4</td></tr>
<tr><td colspan="3">特殊研究</td><td>⑥</td><td></td><td>4</td></tr>
<tr><td colspan="3">卒業論文</td><td>⑦</td><td>6</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3" rowspan="2">小計（B）</td><td>46</td><td>20</td><td>20</td></tr>
<tr><td colspan="3">86</td></tr>
<tr><td rowspan="4">自由選択単位ア</td><td colspan="3">共通科目（Aを超える単位）</td><td>イ</td><td rowspan="3" colspan="2"></td><td rowspan="3">8</td></tr>
<tr><td colspan="3">専門科目（Bを超える単位）</td><td>ウ</td></tr>
<tr><td colspan="3">他学部・他学科の専門科目</td><td>エ</td></tr>
<tr><td colspan="3">小計（C）</td><td>8</td></tr>
<tr><td colspan="4">合計（A）＋（B）＋（C）</td><td colspan="3">125</td></tr>
</table>

『共通科目群』

ａ　必修科目８単位、指定された選択必修科目17単位、それ以外に共通科目群の選択科目より６単位（その他の単位：共通科目群ａの※部分）の合計31単位以上を修得すること。

ｂ　英語は「Basic English Ⅰ」「Basic English Ⅱ」の２科目２単位を必修とする。

ｃ　英語以外の外国語は、ドイツ語、フランス語、中国語及び韓国語（それぞれ入門ＡⅠ、入門ＡⅡ、入門Ｂ、基礎、発展Ⅰ、発展Ⅱ）から１言語６単位以上を選択必修。文学部の学生は１年前期で「入門Ｂ」を、後期で「基礎」を履修すること。

ｄ　ｂとｃ以外の外国語（13科目14単位）を修得した場合はその他の選択単位（６単位中）もしくは自由選択単位ア（８単位中）のイに含む。

ｅ　「健康とスポーツ科学」は必修とし、「生涯スポーツ実習Ⅰ」「生涯スポーツ実習Ⅱ」から１科目１単位を選択必修とする。

ｆ　「情報処理入門」は必修とする。

ｇ　「プレゼミナール」「キャリア形成論」は必修とする。

ｈ　「もやいすと（地域）ジュニア育成」「もやいすと（防災）ジュニア育成」から１科目２単位を選択必修とする。

ｉ　新熊本学は４科目８単位から１科目２単位を選択必修とする。

ｊ　地域理解とリーダーシップのｈとｉ以外の科目（２科目４単位）を修得した場合はその他の選択単位（６単位中）もしくは自由選択単位ア（８単位中）のイに含むことができる。

ｋ，ｌ，ｍ　各分野からそれぞれ１科目２単位以上を選択必修とする。

『専門科目群』①は、②人文基礎中の４単位、③主要科目中の必修科目40単位、④学部共通科目中の８単位、⑤演習中の４単位、⑥特殊研究中の４単位並びに⑦卒業論文６単位を含む、合計86単位以上を修得すること。なお、②～⑦を合わせると66単位であり、専門科目群の必要単位数86単位には不足する。この足りない20単位は、専門科目群のいずれからでも選択できる。

『自由選択単位』アは、共通科目群の必要単位数31単位と専門科目群の必要単位数86単位を合わせても117単位であり、卒業に必要な単位数の125単位に不足する。この足りない８単位を、自由選択単位として、イ、ウ、エいずれからでも選択できるようにするものである。

イ　共通科目群の必要単位数31単位を超えて修得した単位数。

ウ　専門科目群の必要単位数86単位を超えて修得した単位数。

エ　所属学科の専門科目群に含まれていない他学部・他学科の専門科目の単位を自由選択単位の中に含めることができる。（履修方法等は「※他学部・他学科開講科目の履修について」を参照。）

【英語英米文学科履修モデル】

以下に示すのは、標準的な履修パターンの例です。本来、個々の関心や予定する研究テーマに合わせて、自分で組合せを選んで履修するのが大学の授業です。次ページの「英語英米文学科履修上の注意」を参考に、自分で組んだ時間割で身動きが取れなくならないように、かつ余裕をもって卒業に必要な単位数を取得できるように、よく考えて年間の履修計画を立てましょう。なお、履修計画を実現するために、必修科目は各学年の配当時に確実に単位取得するようにしましょう。

１年次

１年次配当の必修科目と選択した初修外国語
＋
無理のない範囲での選択必修科目や選択科目
（その際に）
「情報処理実習」はどの卒業論文履修分野を選択しても研究の基礎となる科目ですので出来るだけ取っておくとよいでしょう。
教職を目指す人は、１年次配当の「英語音声学Ⅰ、Ⅱ」を取っておくとよいでしょう。

２年次

２年次配当の必修科目と選択した初修外国語
＋
３年次の「演習」、４年次の「特殊研究」の領域を考慮した選択科目、学習時間のバランス・進級要件を考えた履修科目数
（その際に）
教職を目指す人は、２年次配当の教職に関する科目及び「西洋文化史」を取っておくとよいでしょう。

３年次

３年次配当の必修科目
＋
４年次の「特殊研究」（卒論研究）の領域を考慮した「演習」の選択。
（その際に）
英語運用能力をさらに高めたい人は「現代英語運用」の選択科目を、
教職を目指す人は、３年次配当の教職に関する科目を取っておくとよいでしょう。

４年次

卒論執筆領域の「特殊研究」

（その際に）
英語運用能力をさらに高めたい人は「現代英語運用」の選択科目を、
教職を目指す人は、４年次配当の教職に関する科目を取っておくとよいでしょう。
＋
幅広い知識を身につけたい人や人文学分野で卒論を書く人は４年次配当の「演習」をさらに取ってもよいでしょう。

英語英米文学科　履修上の注意

以下は、各分野ごとに、必修科目以外で履修しておくことが望ましい科目を示したものです。これらを中心としながら、他の科目からも幅広く履修してください。

1　英語学分野

◇主要科目
英語学関連科目
◇演習
英語学関連科目
◇特殊研究
卒論指導教員の担当科目

2　英文学分野

◇主要科目
英文学関連科目
◇演習
英文学関連科目
◇特殊研究
卒論指導教員の担当科目

3　米文学分野

◇主要科目
米文学関連科目
◇演習
米文学関連科目
◇特殊研究
卒論指導教員の担当科目

4　英語教育分野

◇主要科目
英語学、英語教育関連科目
◇演習
英語教育関連科目
◇特殊研究
卒論指導教員の担当科目

5　日本語教育分野

次頁を参照

6　人文学分野

◇学部共通科目
人文学概論、卒論領域及び隣接領域関連講義
◇演習
卒論領域及び隣接領域関連演習
◇特殊研究
卒論指導教員の担当科目

日本語教育分野（英文）カリキュラム（平成20年度以降入学者）

目的	科目	開講 単位数	必要 単位数	開講学年
日本語教育の実践力の養成	日本語教育演習Ⅰ～Ⅲ 日本語教育演習Ⅳ	④単位×３ ②単位	６単位 選択	２～４年 ２～４年前期
日本語教育の教授に関する知識の獲得と能力の養成	日本語教授法Ⅰ～Ⅳ 日本語教育教材研究 日本語教育評価法　*1 日本語教育特殊研究　*2	②単位×４ ②単位 ②単位 ④単位×２	16単位 選択	１年前期～２年後期 ３・４年前期 ３・４年前期 ３・４年
言語分析力の養成	言語基礎論 言語学演習Ⅰ・Ⅱ　*3	②単位 ②単位×２	４単位 選択	１年後期 ３年前期・後期
日本語を分析し体系立てて記述する能力の養成	現代日本語の分析	②単位	２単位	２年後期
日本語、日本語学、日本文学に関する知識の獲得	日本語学概論Ⅰ・Ⅱ 日本文法Ⅰ 近代文学史	②単位×２ ②単位 ②単位	４単位 選択	１年前期・後期 ２年前期 １年後期
英語、英語学に関する知識の獲得	英語音声学Ⅰ・Ⅱ 英語学概論Ⅰ・Ⅱ	②単位×２ ②単位×２	８単位	１年前期・後期 ２年前期・後期
言語を体系的に客観視する能力の養成	専攻以外の外国語	②単位×２	４単位	
	卒業論文	⑥単位	６単位	
合　　計		68単位	50単位	

＊１　「日本語教育教材研究」と隔年開講。
＊２　４年次では必ず履修すること。
＊３　できるだけⅠを履修すること。

英語英米文学科カリキュラムの概要（専門科目群）

授業科目名右横の〇数字は必修科目、（ ）数字は選択必修科目の単位数を表す。

区分			履修要件	1 年		2 年		3 年		4 年	
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期
専門科目群（86単位以上）	人文基礎			歴史基礎論(2)	言語基礎論(2)	文学研究への招待(2)	知識と方法(2)				
	主要科目	現代英語運用	必修40単位	Academic Reading Skills Ⅰ① Integrated Skills Ⅰ①	Paragraph Writing ① Academic Reading Skills Ⅱ① Extensive Reading and Listening Ⅰ① Integrated Skills Ⅱ①	College Writing Ⅰ① Extensive Reading and Listening Ⅱ① Integrated Skills Ⅲ①	College Writing Ⅱ① Oral Presentation Ⅰ① Integrated Skills Ⅳ①	Research Writing Ⅰ② Oral Presentation Ⅱ① 言語表現と翻訳技法Ⅰ(1) Integrated Skills Ⅴ(1)	Research Writing Ⅱ② Oral Presentation Ⅲ① 言語表現と翻訳技法Ⅱ(1) Integrated Skills Ⅵ(1)	Integrated Skills Ⅶ(1)	Integrated Skills Ⅷ(1)
		英語学		英語音声学Ⅰ(2)	英文法Ⅰ② 英語音声学Ⅱ(2)	英文法Ⅱ② 英語学概論Ⅰ②	英文法Ⅲ② 英語学概論Ⅱ②	英語史Ⅰ(2) 英語学特別講義Ⅰ(2)〈Ⅱと隔年〉 英語学特別講義Ⅱ(2)〈Ⅰと隔年〉	英語史Ⅱ(2)	英語学特別講義Ⅰ(2)〈Ⅱと隔年〉 英語学特別講義Ⅱ(2)〈Ⅰと隔年〉	
		英文学 米文学		英文学講読Ⅰ②	米文学講読Ⅰ②	英文学史Ⅰ② 米文学史Ⅰ②	英文学史Ⅱ② 英文学講読Ⅱ(2) 米文学史Ⅱ② 米文学講読Ⅱ(2)	英米詩概論Ⅰ(2)〈隔年〉 英語圏文学講読Ⅰ(2) 英文学特別講義Ⅰ(2)〈Ⅱと隔年〉 英文学特別講義Ⅱ(2)〈Ⅰと隔年〉 米文学特別講義Ⅰ(2)〈Ⅱと隔年〉 米文学特別講義Ⅱ(2)〈Ⅰと隔年〉	英米詩概論Ⅱ(2)〈隔年〉 英語圏文学講読Ⅱ(2)	英文学特別講義Ⅰ(2)〈Ⅱと隔年〉 英文学特別講義Ⅱ(2)〈Ⅰと隔年〉 米文学特別講義Ⅰ(2)〈Ⅱと隔年〉 米文学特別講義Ⅱ(2)〈Ⅰと隔年〉	
		英語教育					英語教育講義(2)	英語教育特別講義Ⅰ(2)〈Ⅱと隔年〉 英語教育特別講義Ⅱ(2)〈Ⅰと隔年〉		英語教育特別講義Ⅰ(2)〈Ⅱと隔年〉 英語教育特別講義Ⅱ(2)〈Ⅰと隔年〉	
	学部共通科目		8単位以上	日本語学概論Ⅰ(2) 日本語教授法Ⅰ(2)	情報処理実習(1) 日本語学概論Ⅱ(2) 日本語教授法Ⅱ(2)	日本文化論Ⅰ(2) 人文学概論(2) 西洋文化史Ⅰ(2) 地域文化研究Ⅰ(2) 文化人類学(2) 異文化コミュニケーション論ＢⅠ(2) 日本文法Ⅰ(2) 日本語教授法Ⅲ(2)	日本文化論Ⅱ(2) 西洋文化史Ⅱ(2) 地域文化研究Ⅱ(2) 思想史講義Ⅰ(2)〈Ⅱと隔年〉 歴史学講義Ⅰ(2)〈Ⅱと隔年〉 中国文化論Ⅰ(2)〈Ⅱと隔年〉 フランス語圏文化Ⅰ(2)〈Ⅱと隔年〉 比較文学講義Ⅰ(2)〈Ⅱと隔年〉 異文化コミュニケーション論ＢⅡ(2) 現代日本語の分析(2) 日本文法Ⅱ(2) 日本語教授法Ⅳ(2)	中国文学史Ⅰ(2) 日中比較文学Ⅰ(2) 日本語教育教材研究(2)〈隔年〉 日本語教育評価法(2)〈隔年〉 心理学講義Ⅰ〈Ⅱと隔年〉 教育学講義Ⅰ〈Ⅱと隔年〉 異文化コミュニケーション論ＡⅠ(2)〈Ⅱと隔年〉 日本語史Ⅰ(2)	中国文学史Ⅱ(2) 日中比較文学Ⅱ(2) 思想史講義Ⅱ(2)〈Ⅰと隔年〉 歴史学講義Ⅱ(2)〈Ⅰと隔年〉 中国文化論Ⅱ(2)〈Ⅰと隔年〉 フランス語圏文化Ⅱ(2)〈Ⅰと隔年〉 比較文学講義Ⅱ(2)〈Ⅰと隔年〉 日本語史Ⅱ(2)	心理学講義Ⅱ〈Ⅰと隔年〉 教育学講義Ⅱ〈Ⅰと隔年〉	
	演習	英語学	4単位以上					英語学演習Ⅰ(2)	英語学演習Ⅱ(2)		
		英文学						英文学演習Ⅰ(2)	英文学演習Ⅱ(2)		
		米文学						米文学演習Ⅰ(2)	米文学演習Ⅱ(2)		
		英語教育						英語教育演習Ⅰ(2)	英語教育演習Ⅱ(2)		
		日本語教育				日本語教育演習Ⅰ(4)〈ⅡⅢと３年毎〉		日本語教育演習Ⅱ(4)〈ⅠⅢと３年毎〉		日本語教育演習Ⅲ(4)〈ⅠⅡと３年毎〉	
							日本語教育演習Ⅳ(2)				
		人文学						歴史学演習Ⅰ(2)〈Ⅲと隔年〉 思想史演習Ⅰ(2)〈Ⅲと隔年〉 言語学演習Ⅰ(2) 中国文化論演習Ⅰ(2)〈Ⅲと隔年〉 フランス語圏文化演習Ⅰ(2)〈Ⅲと隔年〉 比較文学演習Ⅰ(2)〈Ⅲと隔年〉	歴史学演習Ⅱ(2)〈Ⅳと隔年〉 思想史演習Ⅱ(2)〈Ⅳと隔年〉 異文化コミュニケーション演習Ⅰ(2)〈Ⅱと隔年〉 心理学演習Ⅰ(2)〈Ⅱと隔年〉 教育学演習Ⅰ(2)〈Ⅱと隔年〉 言語学演習Ⅱ(2) 中国文化論演習Ⅱ(2)〈Ⅳと隔年〉 フランス語圏文化演習Ⅱ(2)〈Ⅳと隔年〉 比較文学演習Ⅱ(2)〈Ⅳと隔年〉	歴史学演習Ⅲ(2)〈Ⅰと隔年〉 思想史演習Ⅲ(2)〈Ⅰと隔年〉 中国文化論演習Ⅲ(2)〈Ⅰと隔年〉 フランス語圏文化演習Ⅲ(2)〈Ⅰと隔年〉 比較文学演習Ⅲ(2)〈Ⅰと隔年〉	歴史学演習Ⅳ(2)〈Ⅱと隔年〉 思想史演習Ⅳ(2)〈Ⅱと隔年〉 異文化コミュニケーション演習Ⅱ(2)〈Ⅰと隔年〉 心理学演習Ⅱ(2)〈Ⅰと隔年〉 教育学演習Ⅱ(2)〈Ⅰと隔年〉 中国文化論演習Ⅳ(2)〈Ⅱと隔年〉 フランス語圏文化演習Ⅳ(2)〈Ⅱと隔年〉 比較文学演習Ⅳ(2)〈Ⅱと隔年〉
	特殊研究	英語学	4単位以上							英語学特殊研究Ⅰ(2)	英語学特殊研究Ⅱ(2)
		英文学								英文学特殊研究Ⅰ(2)	英文学特殊研究Ⅱ(2)
		米文学								米文学特殊研究Ⅰ(2)	米文学特殊研究Ⅱ(2)
		英語教育								英語教育特殊研究Ⅰ(2)	英語教育特殊研究Ⅱ(2)
		日本語教育						日本語教育特殊研究Ⅰ(4)〈Ⅱと隔年〉		日本語教育特殊研究Ⅱ(4)〈Ⅰと隔年〉	
		人文学								思想史特殊研究Ⅰ(2) 心理学特殊研究Ⅰ(2) 中国文化論特殊研究Ⅰ(2) 言語学特殊研究Ⅰ(2) 歴史学特殊研究Ⅰ(2) 比較文学特殊研究Ⅰ(2) フランス語圏文化特殊研究Ⅰ(2) 異文化コミュニケーション特殊研究Ⅰ(2) 教育学特殊研究Ⅰ(2)	思想史特殊研究Ⅱ(2) 心理学特殊研究Ⅱ(2) 中国文化論特殊研究Ⅱ(2) 言語学特殊研究Ⅱ(2) 歴史学特殊研究Ⅱ(2) 比較文学特殊研究Ⅱ(2) フランス語圏文化特殊研究Ⅱ(2) 異文化コミュニケーション特殊研究Ⅱ(2) 教育学特殊研究Ⅱ(2)
	卒業論文		6単位							卒業論文⑥	

※卒業には125単位以上修得が必要（内訳：共通科目群から31単位以上、専門科目群から卒業論文６単位を含む86単位以上、自由選択単位８単位）。卒業要件の詳細については、32頁～34頁をよく読むこと。

（注）〇は必修科目、（ ）は必修科目です。

【日本語日本文学科・英語英米文学科　共通】

他学部・他学科開講科目の履修について

文学部の学生は、所属学科の専門科目群に含まれていない他学部（総合管理学部と環境共生学部）・他学科の専門科目の履修願を教務入試課に提出することにより履修することができます。ただし、原則として演習・実習及び実験は対象外とします。

また、修得した単位は自由選択単位に含めることができます。ただし、教職に関する科目は、卒業要件に含まれません。

対象となる科目については、各学部の「履修の手引」を参照してください。

外国人留学生の特別科目に関する履修の特例について

ア　外国人留学生は母語を外国語として履修することはできません。履修言語が母語ではなく公用語である場合、その言語の履修上の扱いは学部がその都度決めます。

イ　英語を母語としない留学生は、日本語を初修外国語とすることができます。その場合、日本語日本文学科の学生は４単位以上、英語英米文学科の学生は６単位以上を必修とします。

ウ　英語を母語とする留学生は、日本語を英語または初修外国語に振り替えます。その場合、各学科における英語または初修外国語の必修単位数を日本語で修得してください。初修外国語に振り替える場合は、英語の必修単位数を初修外国語から修得してください。

エ　外国人留学生が修得した日本事情科目の単位のうち６単位までを共通科目群の「その他の単位」（注）に振り替えることができます。

（注）「その他の単位」については、卒業要件のページ（Ｐ25、33）の説明文ａを参照してください。

4　教育職員免許状の取得について

本学は、「総合性への志向」、「地域性の重視」、「国際性の推進」を理念として掲げており、人文、自然、社会の学問分野を包括する総合的な知識の形成を図り、地域社会が当面する諸問題を分析解決するとともに国際社会の発展に寄与できる、創造力豊かな人材の育成を行っています。以上に基づき、豊かな教養と総合的な知識を十分に生かし、幅広い視点から物事を冷静に分析し考察する能力を身に付けるとともに、確かな行動力でもって実践的に地域の教育に貢献できる教員を養成しています。

〇文学部日本語日本文学科（中学一種免許国語・高校一種免許国語）

広く人文学的な視野のもと、日本語・日本文学の歴史と現在の中に新たな学問的発見を求めていく過程を通して、日本語の共時的な構造を通時的な見通しのもとに理解して効果的に分析説明する能力、及び、文献学的知見を踏まえて各時代の代表的文学作品や論説を読解し分析する能力の双方を向上させます。また、身につけた幅広い教養と高い専門性を生かし、学校教育現場において、個々の学習者が日本語の言語文化を学び自らその担い手となることの充実感を実感できる指導を行う能力を備えた、人間性豊かな人材を養成します。

〇文学部英語英米文学科（中学一種免許英語、高校一種免許英語）

高度な英語運用能力の習得を目標とした現代英語運用科目、ならびに専門科目である英語学、英文学、米文学、英語教育を学ぶことによって、英語の構造と意味、英語圏の文化、歴史、社会思想に関する知識を有し、かつ教育現場においてそれらの知識を活かし効果的な教科指導と教育指導ができる人材を養成します。また多文化共生への深い理解力を備え、現代に望まれる人間教育を遂行できる人材を養成します。

各教育職員免許状を取得するには、それぞれの学科の卒業に必要な単位の他に、以下の２）文学部における教育職員免許状取得で修得すべき授業科目に示す科目の単位を修得し、都道府県教育委員会に各自で申請することが必要です。熊本県教育委員会への申請は、本学教職課程の単位を満たしている場合は教務入試課で一括して行います。

１）取得できる免許状の種類

文学部	日本語日本文学科	中学校教諭一種免許状	国語
		高等学校教諭一種免許状	国語
	英語英米文学科	中学校教諭一種免許状	英語
		高等学校教諭一種免許状	英語

２）文学部における教育職員免許状取得で修得すべき授業科目

修得すべき授業科目は、⑴教育職員免許法施行規則第66条の６に定める科目、⑵教職に関する科目、⑶教科に関する科目、⑷教科又は教職に関する科目の４つに分類されています。次の表は、各免許状の取得に必要とされる科目名と単位数を示したものです。数字は単位数で、数字を〇で囲んである科目は、各免許種別の必修科目又は選択必修科目です。

⑴　教育職員免許法施行規則第66条の６に定める科目

学　科	日本語日本文学科		英語英米文学科	
	中学国語	高校国語	中学英語	高校英語
健康とスポーツ科学	②			
生涯スポーツ実習Ⅰ	①（１科目１単位を選択）			
生涯スポーツ実習Ⅱ				
Basic English Ⅰ	①			
Basic English Ⅱ	①			
生活と憲法	②			
情報処理入門	②			

⑵　教職に関する科目

１　「教職に関する科目」として修得した単位で必要最低単位数（中学国語35単位、高校国語31単位、中学英語35単位、高校英語31単位）を超えたものは、「⑷教科又は教職に関する科目」の単位とすることができます。

２　「道徳教育の理論と方法」は中学校一種免許取得にあたっては必修であるが、高等学校一種免許の取得にあたっては「教科又は教職に関する科目」として扱うことができます。

３　教育実習を履修するには、「教職論」、「教育原理」、「教育心理学Ⅰ」、「生徒指導の理論及び方法」のうち２科目以上を修得していなければなりません。さらに４年次に進級するまでに各教科教育法Ⅰ及びⅡを修得していなければなりません。

なお、「教育実習指導」の履修状況に問題があり、実習を行うにふさわしくないと認められる場合には、「教育実習」を履修することはできません。

学　科		日本語日本文学科		英語英米文学科	
修得すべき授業科目		中学国語	高校国語	中学英語	高校英語
教職の意義等に関する科目	教職論	②			
教育の基礎理論に関する科目	教育原理	②			
	教育心理学Ⅰ	②			
	教育心理学Ⅱ（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）	①			
	教育社会学	選択必修② （１科目以上を履修すること）			
	教育制度論				
教育課程及び指導法に関する科目	教育課程論	②			
	国語科教育法Ⅰ	②	②	－	－
	国語科教育法Ⅱ	②	②	－	－
	国語科教育法Ⅲ	②	②	－	－
	国語科教育法演習	2	2	－	－
	英語科教育法Ⅰ	－	－	②	②
	英語科教育法Ⅱ	－	－	②	②
	英語科教育法Ⅲ	－	－	②	②
	英語科教育法セミナー	－	－	2	2
	道徳教育の理論と方法	②	－	②	－
	特別活動の理論と方法	②			
	教育の方法と技術	②			
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒指導の理論及び方法	②			
	教育相談の理論と方法	②			
教育実習	教育実習指導	②			
	教育実習	④	②単位以上	④	②単位以上
教職実践演習	教職実践演習（中・高）	②			
必要最低単位数		35	31	35	31

（注意事項）

1　教育社会学及び教育制度論は選択必修です。もし、２科目履修した場合には、１科目は「教科又は教職に関する科目」の単位とすることができます。

2　中学校の免許状を取得希望する者は、法律により７日以上の「介護等体験」が必要です。詳細については履修開始後に説明があるので、指示に従ってください。

⑶　教科に関する科目

日本語日本文学科

1　国語科の免許状取得のためには、次表の科目から合計20単位を修得し、さらに、免許法施行規則に定める区分等からそれぞれ１単位以上を修得しなければなりません。
2　20単位を超えるものは「⑷教科又は教職に関する科目」の単位とすることができます。
3　〇は教科に関する科目として必修科目です。

免許法施行規則に定める区分等	該当授業科目	単位数
国語学 （音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	〇日本語学概論Ⅰ（音声言語を含む。） 〇日本語学概論Ⅱ（音声言語を含む。） 〇日本語史Ⅰ 〇日本語史Ⅱ 〇日本文法Ⅰ（文章表現を含む。） 〇日本文法Ⅱ 日本語教授法Ⅰ（音声言語を含む。） 日本語教授法Ⅱ（文章表現を含む。） 日本語学演習Ⅰ～Ⅸ	2 2 2 2 2 2 2 2 4×9
国文学 （国文学史を含む。）	〇文献学基礎論（国文学史を含む。） 〇文学研究法基礎（国文学史を含む。） 〇古典文学史Ⅰ 古代文学講読 〇古典文学史Ⅱ 中世文学講読 近世文学講読 〇近代文学史 近代文学講読 古代文学演習Ⅰ～Ⅲ 中近世文学演習Ⅰ～Ⅲ 近代文学演習Ⅰ～Ⅲ	2 2 2 2 2 2 2 2 2 4×3 4×3 4×3
漢文学	〇漢文学史 中国文学史Ⅰ 中国文学史Ⅱ 中国文化論演習Ⅰ 中国文化論演習Ⅱ 中国文化論演習Ⅲ 中国文化論演習Ⅳ	2 2 2 2 2 2 2
書道（書写を中心とする。） 【中学校一種免許状のみ】 （高等学校一種免許状取得に必要な単位数には算入されない。）	書道Ⅰ（講義） 〇書道Ⅱ（実技）	2 2

英語英米文学科

1　英語科の免許状取得のためには、次表の科目から合計20単位を修得し、さらに、免許法施行規則に定める区分等からそれぞれ１単位以上を修得しなければなりません。
2　20単位を超えるものは「⑷教科又は教職に関する科目」の単位とすることができます。
3　〇は教科に関する科目として必修科目です。

免許法施行規則に定める区分等	該当授業科目	単位数
英語学	〇英語学概論Ⅰ	2
	〇英語学概論Ⅱ	2
	〇英語音声学Ⅰ	2
	〇英語音声学Ⅱ	2
	英語史Ⅰ	2
	英語史Ⅱ	2
	〇英文法Ⅰ	2
	〇英文法Ⅱ	2
	〇英語教育講義	2
英米文学	〇英文学史Ⅰ	2
	〇英文学史Ⅱ	2
	〇英文学講読Ⅰ	2
	英文学講読Ⅱ	2
	〇米文学史Ⅰ	2
	〇米文学史Ⅱ	2
	〇米文学講読Ⅰ	2
	米文学講読Ⅱ	2
	英米詩概論Ⅰ	2
	英米詩概論Ⅱ	2
	英語圏文学講読Ⅰ	2
	英語圏文学講読Ⅱ	2
英語コミュニケーション	〇Integrated Skills Ⅰ	1
	〇Integrated Skills Ⅱ	1
	〇Integrated Skills Ⅲ	1
	〇Integrated Skills Ⅳ	1
	〇Paragraph Writing	1
	〇College Writing Ⅰ	1
	〇College Writing Ⅱ	1
	〇Research Writing Ⅰ	2
	〇Research Writing Ⅱ	2
	言語表現と翻訳技法Ⅰ	1
	言語表現と翻訳技法Ⅱ	1
	〇Academic Reading Skills Ⅰ	1
	〇Academic Reading Skills Ⅱ	1
	〇Extensive Reading and Listening Ⅰ	1
	〇Extensive Reading and Listening Ⅱ	1
異文化理解	西洋文化史Ⅰ ｝１科目選択必修	2
	西洋文化史Ⅱ ｝	2

⑷　教科又は教職に関する科目

1　中学校（国語、英語）の免許状取得のためには、次表の「教科又は教職に関する科目」と「⑵教職に関する科目」さらに「⑶教科に関する科目」から合計８単位以上、高等学校（国語、英語）は合計16単位以上を修得しなければなりません。

2　「教科又は教職に関する科目」として算入した科目の単位は、「⑵教職に関する科目」及び「⑶教科に関する科目」の単位に含めることはできません。

学　科		日本語日本文学科		英語英米文学科	
修得すべき授業科目		中学国語	高校国語	中学英語	高校英語
教科又は教職に関する科目	人権と文化	2			
	人間と教育	2			
	道徳教育の理論と方法	※教職に関する科目	2	※教職に関する科目	2
	日本語教授法Ⅲ	2	2	2	2
	日本語教授法Ⅳ	2	2	2	2
	日本語教育教材研究	2	2	2	2
	日本語教育評価法	2	2	2	2

（注意事項）

1　「道徳教育の理論と方法」は、高等学校一種免許の取得のために「教科又は教職に関する科目」として扱うことができます。

2　他学科の「教科教育法」の単位は、「教科又は教職に関する科目」として扱うことはできません。例えば、「高校英語」の免許状取得のために、「国語科教育法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」や、「国語科教育法演習」の単位を「教科又は教職に関する科目」としてカウントすることはできません。

（修得方法の一例）p. 37の⑵1参照

高等学校一種免許（英語）を目指す場合

「⑷教科又は教職に関する科目」での必要単位		16単位
「⑷教科又は教職に関する科目」から		
「人権と文化」	2単位	
「人間と教育」	2単位	
「道徳教育の理論と方法」	2単位	
「⑵教職に関する科目」から		16－８＝８
「教育社会学」と		
「教育制度論」を両方修得	2単位	
	合計	８単位

残りの８単位は「教科に関する科目」から修得（教科に関する科目で最低28単位の修得が必要）

３）教職課程履修カルテ

教職課程履修者の履修状況を把握し、教職指導を充実させるために、教職課程履修カルテを作成します。履修カルテ作成の手順と取り扱いについては次のとおりです。

新２年生オリエンテーション時：履修カルテの配布、活用方法の説明。
新３年生オリエンテーション時：２年次を振り返り、履修カルテを記入して提出・返却。
新４年生オリエンテーション時：３年次を振り返り、履修カルテを記入して提出・返却。
４年次「教育実習指導」：授業で履修カルテを使用。
４年次「教職実践演習」：授業で履修カルテを使用。

5　学科別授業一覧

共通科目群（両学科共通）

時間割コード	授　業　科　目　名	教職科目	担当者（非常勤）	○は必修 単位数	配当年次	週コマ数	備考
◆基盤科目							
◇外国語							
11160101	Basic English Ⅰa（日文）	教職	(Jenkinson)	①	1年前期	1	
11160102	Basic English Ⅰb（日文）	教職	(Ostman)	①	1年前期	1	
11160701	Basic English Ⅰ（英文）	教職	Lavin	①	1年前期	1	
11160201	Basic English Ⅱa（日文）	教職	(Jenkinson)	①	1年後期	1	
11160202	Basic English Ⅱb（日文）	教職	(Ostman)	①	1年後期	1	
11160801	Basic English Ⅱ（英文）	教職	村尾	①	1年後期	1	
11120311	Basic English Ⅲ（日文）		(安浪)	①	1年前期	1	
11120411	Basic English Ⅳ（日文）		(安浪)	①	1年後期	1	
未開講	Basic English Ⅴa（日文）			①	2年前期	1	
未開講	Basic English Ⅴb（日文）			①	2年前期	1	
未開講	Basic English Ⅵa（日文）			①	2年後期	1	
未開講	Basic English Ⅵb（日文）			①	2年後期	1	
11150101	Advanced English Ⅰ		(有働)	1	1～4年前期	1	
11150201	Advanced English Ⅱ		(Cairns)	1	1～4年後期	1	
11150301	English for Studying Abroad		(岡崎)	1	1～4年前期	1	
11150401	English for Global Business Ⅰ		(有働)	1	1～4年前期	1	
11150501	English for Global Business Ⅱ		(岡崎)	1	1～4年後期	1	
11150601	English for Global Business Ⅲ		(岡崎)	1	1～4年前期	1	
11150701	English for Global Business Ⅳ		(岡崎)	1	1～4年後期	1	
11150801	Presentation English Ⅰ		(Tomei)	1	1～4年前期	1	
11150901	Presentation English Ⅱ		(Cairns)	1	1～4年後期	1	
11151001	Language and Culture Ⅰ		Lavin	1	1～4年前期	1	
11151101	Language and Culture Ⅱ		Bouarib	1	1～4年後期	1	
11151201	Selected Readings in English		清水	1	1～4年後期	1	
11151301	Intensive English		村尾・他	2	1～4年後期	1	集中講義

共通科目群（両学科共通）

時間割コード	授　業　科　目　名	教職科目	担当者（非常勤）	○は必修 単位数	配当年次	週コマ数	備考
11136101	フランス語入門ＡＩａ		（木下）	1	１年前期	1	※フランス語、ドイツ語、中国語及び韓国語のうち、日本語日本文学科は１言語４単位以上を、英語英米文学科は１言語６単位以上を修得すること。 ※文学部の学生は１年次は「入門Ｂ」と「基礎」を履修すること。
11136102	フランス語入門ＡＩｂ		（木下）	1	１年前期	1	
11136201	フランス語入門ＡⅡａ		（木下）	1	１年後期	1	
11136202	フランス語入門ＡⅡｂ		（木下）	1	１年後期	1	
11136301	フランス語入門Ｂ		砂野	2	１年前期	2	
11136401	フランス語基礎		砂野	2	１年後期	2	
未開講	フランス語発展Ⅰ			1	２年前期	1	
未開講	フランス語発展Ⅱ			1	２年後期	1	
11137101	ドイツ語入門ＡＩａ		（舘石）	1	１年前期	1	
11137102	ドイツ語入門ＡＩｂ		（ライベルト）	1	１年前期	1	
11137201	ドイツ語入門ＡⅡａ		（舘石）	1	１年後期	1	
11137202	ドイツ語入門ＡⅡｂ		（ライベルト）	1	１年後期	1	
11137301	ドイツ語入門Ｂ		（バウアー）	2	１年前期	2	
11137401	ドイツ語基礎		（バウアー）	2	１年後期	2	
未開講	ドイツ語発展Ⅰ			1	２年前期	1	
未開講	ドイツ語発展Ⅱ			1	２年後期	1	
11138101	中国語入門ＡＩａ		（趙）	1	１年前期	1	
11138102	中国語入門ＡＩｂ		（趙）	1	１年前期	1	
11138103	中国語入門ＡＩｃ		（馮）	1	１年前期	1	
11138201	中国語入門ＡⅡａ		（趙）	1	１年後期	1	
11138202	中国語入門ＡⅡｂ		（趙）	1	１年後期	1	
11138203	中国語入門ＡⅡｃ		（馮）	1	１年後期	1	
11138301	中国語入門Ｂａ		山田	2	１年前期	2	
11138302	中国語入門Ｂｂ		（岡村）	2	１年前期	2	
11138401	中国語基礎ａ		山田	2	１年後期	2	
11138402	中国語基礎ｂ		（岡村）	2	１年後期	2	
未開講	中国語発展Ⅰａ			1	２年前期	1	
未開講	中国語発展Ⅰｂ			1	２年前期	1	
未開講	中国語発展Ⅱａ			1	２年後期	1	
未開講	中国語発展Ⅱｂ			1	２年後期	1	
11139101	韓国語入門ＡＩａ		（矢野）	1	１年前期	1	
11139102	韓国語入門ＡＩｂ		（金）	1	１年前期	1	
11139201	韓国語入門ＡⅡａ		（矢野）	1	１年後期	1	
11139202	韓国語入門ＡⅡｂ		（金）	1	１年後期	1	
11139301	韓国語入門Ｂａ		崔	2	１年前期	2	
11139302	韓国語入門Ｂｂ		（田）	2	１年前期	2	
11139401	韓国語基礎ａ		崔	2	１年後期	2	
11139402	韓国語基礎ｂ		（田）	2	１年後期	2	
未開講	韓国語発展Ⅰ			1	２年前期	1	
未開講	韓国語発展Ⅱ			1	２年後期	1	

共通科目群（両学科共通）

時間割コード	授　業　科　目　名	教職科目	担当者（非常勤）	○は必修 単位数	配当年次	週コマ数	備考
◇健康スポーツ科学							
11510101	健康とスポーツ科学（文・環）	教職	青木	②	1年前期	1	
11510201	生涯スポーツ実習Ⅰ（3限クラス）	教職	松本・他	1	1年前期	1	
11510202	生涯スポーツ実習Ⅰ（4限クラス）	教職	松本・他	1	1年前期	1	
11510301	生涯スポーツ実習Ⅱ（3限クラス）	教職	松本・他	1	1年後期	1	
11510302	生涯スポーツ実習Ⅱ（4限クラス）	教職	松本・他	1	1年後期	1	
◇情報処理							
13100111	情報処理入門（日文クラス）	教職	（川田）	②	1年前期	1	
13100121	情報処理入門（英文クラス）	教職	三浦	②	1年前期	1	
◇キャリアデザイン							
13310111	プレゼミナール		担当教員	①	1年前期	1	※原則として月二回開講
48602111	キャリア形成論		五島	①	1年前期	1	
48601111	インターンシップ1（春季）		担当教員	1	1年後期～3年後期	1	インターンシップは自由科目とし、その単位は卒業要件には含めない。インターンシップは1年次後期から3年次後期の間で履修登録できる。インターンシップは派遣終了後に履修登録を行う。（詳細は掲示する）
48601211	インターンシップ2（春季）		担当教員	1	1年後期～3年後期	1	
48601311	インターンシップ3（春季）		担当教員	1	1年後期～3年後期	1	
48601401	インターンシップ4（春季）		担当教員	1	1年後期～3年後期	1	
48601501	インターンシップ5（春季）		担当教員	1	1年後期～3年後期	1	
48601601	インターンシップ6（春季）		担当教員	1	1年後期～3年後期	1	
48601701	インターンシップ7（春季）		担当教員	1	1年後期～3年後期	1	
48601113	インターンシップ1（夏季）		担当教員	1	1年後期～3年後期	1	
48601213	インターンシップ2（夏季）		担当教員	1	1年後期～3年後期	1	
48601313	インターンシップ3（夏季）		担当教員	1	1年後期～3年後期	1	
48601413	インターンシップ4（夏季）		担当教員	1	1年後期～3年後期	1	
48601513	インターンシップ5（夏季）		担当教員	1	1年後期～3年後期	1	
48601613	インターンシップ6（夏季）		担当教員	1	1年後期～3年後期	1	
48601713	インターンシップ7（夏季）		担当教員	1	1年後期～3年後期	1	
◇地域理解とリーダーシップ							
12800101	もやいすと（地域）ジュニア育成		津曲	2	1～4年後期	1	いずれか1科目選択必修
12800201	もやいすと（防災）ジュニア育成		松添	2	1～4年後期	1	
未開講	もやいすとシニア育成			2	2～4年後期	1	
12800401	減災リテラシー入門		澤田	2	1～4年前期	1	
12312401	新熊本学：ことば、表現、歴史		米谷・他	2	1～4年後期	1	
12711501	新熊本学：熊本の生活と環境		松添・他	2	1～4年後期	1	
12800501	新熊本学：地域のビジネスリーダーに学ぶ		丸山・他	2	1～4年前期	1	
12800601	新熊本学：地域社会と協働		澤田・他	2	1～4年後期	1	

共通科目群（両学科共通）

時間割コード	授　業　科　目　名	教職科目	担当者（非常勤）	○は必修 単位数	配当年次	週コマ数	備考
◆教養科目							
◇人間と文化							
12310101	哲学の基礎		平岡	2	1～4年前期	1	
12320101	科学の思想		平岡	2	1～4年後期	1	
12310401	人間と宗教		（源）	2	1～4年前期	1	
12310701	心理学入門（a）		（菊池）	2	1～4年前期	1	
12310702	心理学入門（b）		田﨑	2	1～4年前期	1	
12311801	人権と文化	教職	難波	2	1～4年前期	1	
休講	人間と教育	教職		2	1～4年後期	1	本年度休講
12312201	現代世界と歴史		大島	2	1～4年後期	1	
12311201	近代日本の歩み		大島	2	1～4年前期	1	
12311401	現代の文学		難波	2	1～4年前期	1	
12311701	人間と芸術		（永田）	2	1～4年後期	1	
12320201	西洋文化圏の理解		（内田）	2	1～4年前期	1	
12500901	東アジア文化圏の理解		崔	2	1～4年後期	1	
◇自然と環境							
12710301	環境と生物圏		堤	2	1～4年後期	1	
12710501	エネルギーと社会		（西川）	2	1～4年前期	1	※九州電力協力講座
12710801	海の生物資源		一宮	2	1～4年前期	1	
12710901	人間と植物生産		松添	2	1～4年前期	1	
12711001	暮らしの中の化学技術		石橋	2	1～4年前期	1	
12711101	環境と生きる		小林	2	1～4年後期	1	
12720101	住まいと地域環境		李・他	2	1～4年前期	1	
12711301	食と健康		友寄・大下	2	1～4年後期	1	
◇社会と世界							
12500101	現代の国際関係		高埜	2	1～4年前期	1	
12500201	世界の経済		松尾	2	1～4年前期	1	
12910101	国際協力論		（木下）	2	1～4年後期	1	
12900101	生活と憲法	教職	佐藤	2	1～4年後期	1	
12900201	現代社会と政治		松岡	2	1～4年前期	1	
12900301	現代社会と法律		（大江）	2	1～4年後期	1	
12900701	情報と社会		（木村）	2	1～4年前期	1	※ＮＴＴ西日本協力講座
12900801	マスメディア論		（安達）	2	1～4年後期	1	※熊本日日新聞社協力講座
12901001	現代社会と企業		（溜渕）	2	1～4年後期	1	※肥後銀行・地方経済総合研究所協力講座

外国人留学生の特別科目（外国人留学生に対してのみ開講）

時間割コード	授　業　科　目　名	担当者（非常勤）	○は必修 単位数	配当年次	週コマ数	備考
（日本語）						
休講	日本語Ａ－１		2	1～2年前期	2	本年度休講
休講	日本語Ａ－２		2	1～2年後期	2	本年度休講
11200301	日本語Ｂ－１	馬場・（大庭）	2	1～2年前期	2	
11200401	日本語Ｂ－２	（大庭）	2	1～2年後期	2	
（日本事情に関する科目）						
休講	日本事情Ⅰ	文学部教員	2	1～4年前期	1	本年度休講
12200201	日本事情Ⅱ	環境共生学部教員	2	1～4年後期	1	
休講	日本事情Ⅲ	総合管理学部教員	2	1～4年後期	1	本年度休講

日本語日本文学科　専門科目群

時間割コード	授　業　科　目　名	教職科目	担当者（非常勤）	○は必修 単位数	配当年次	週コマ数	備考
人文基礎							
未開講	文学研究への招待			2	2年前期	1	
未開講	知識と方法			2	2年後期	1	
33000301	言語基礎論		村尾	2	1年後期	1	
33000401	歴史基礎論		大島	2	1年前期	1	
主要科目							
（日本語学）							
33101101	日本語学概論Ⅰ	教職	小川	②	1年前期	1	
33101201	日本語学概論Ⅱ	教職	半藤	②	1年後期	1	
未開講	日本語史Ⅰ	教職		②	3年前期	1	
未開講	日本語史Ⅱ	教職		②	3年後期	1	
未開講	日本語学史			2	3年後期	1	
未開講	日本文法Ⅰ	教職		②	2年前期	1	
未開講	日本文法Ⅱ	教職		②	2年後期	1	
未開講	方言学基礎論			2	2年前期	1	
未開講	現代日本語の分析			②	2年後期	1	
（日本文学）							
33150301	文献学基礎論	教職	鈴木	②	1年前期	1	
33150401	文学研究法基礎	教職	中井・木村	②	1年後期	1	
33151301	古典文学史Ⅰ	教職	中井	②	1年前期	1	
未開講	古典文学史Ⅱ	教職		②	2年後期	1	
休講	古代文学講読	教職		2	1年後期	1	※隔年開講
未開講	中世文学講読	教職		2	2年前期	1	※隔年開講
未開講	近世文学講読	教職		2	2年後期	1	※隔年開講
33152101	近代文学史	教職	五島	②	1年後期	1	
33152201	近代文学講読	教職	木村	2	1年前期	1	※隔年開講
33152601	地域文献講読Ⅰ		中井	2	1年後期	1	
未開講	地域文献講読Ⅱ			2	2年前期	1	※隔年開講
未開講	漢文学史	教職		2	2年前期	1	
（日本語教育）							
33161101	日本語教授法Ⅰ	教職	馬場	2	1年前期	1	
33161201	日本語教授法Ⅱ	教職	馬場	2	1年後期	1	
未開講	日本語教授法Ⅲ	教職		2	2年前期	1	
未開講	日本語教授法Ⅳ	教職		2	2年後期	1	
（関連分野）							
33185101	書道Ⅰ（講義）	教職	（神野）	2	1年前期	1	
33185201	書道Ⅱ（実技）	教職	（神野）	2	1年通年	1	
未開講	古典文化研究Ⅰ			2	2～3年前期	1	
未開講	古典文化研究Ⅱ			2	2～3年後期	1	
未開講	言語文化研究Ⅰ			2	2～3年前期	1	※Ⅲと隔年で開講、集中講義
未開講	言語文化研究Ⅱ			2	2～3年後期	1	
未開講	言語文化研究Ⅲ			2	2～3年前期	1	※Ⅰと隔年で開講、集中講義
未開講	近代文化研究			2	2～3年前期	1	
未開講	近代地域文化研究			2	2～3年後期	1	
未開講	日本古典文化論Ⅰ			2	3年後期	1	※Ⅱと隔年で開講
未開講	日本古典文化論Ⅱ			2	3年後期	1	※Ⅰと隔年で開講
33186501	地域踏査演習		鈴木・他	①	1年前期	1	
未開講	アカデミックスキルⅠ			2	2年前期	1	
未開講	アカデミックスキルⅡ			2	2年後期	1	

日本語日本文学科　専門科目群

時間割コード	授　業　科　目　名	教職科目	担当者（非常勤）	○は必修 単位数	配当年次	週コマ数	備考
	学部共通科目						
未開講	日本文化論Ⅰ			2	2年前期	1	
未開講	日本文化論Ⅱ			2	2年後期	1	
未開講	中国文学史Ⅰ	教職		2	3年前期	1	
未開講	中国文学史Ⅱ	教職		2	3年後期	1	
未開講	日中比較文学Ⅰ			2	3年前期	1	
未開講	日中比較文学Ⅱ			2	3年後期	1	
未開講	地域文化研究Ⅰ			2	2～3年前期	1	
未開講	地域文化研究Ⅱ			2	2～3年後期	1	
未開講	人文学概論			2	2年前期	1	
未開講	西洋文化史Ⅰ			2	2年前期	1	
未開講	西洋文化史Ⅱ			2	2年後期	1	
未開講	歴史学講義Ⅰ			2	2～3年後期	1	※Ⅱと隔年で開講
未開講	歴史学講義Ⅱ			2	2～3年後期	1	※Ⅰと隔年で開講
未開講	思想史講義Ⅰ			2	2～3年後期	1	※Ⅱと隔年で開講
未開講	思想史講義Ⅱ			2	2～3年後期	1	※Ⅰと隔年で開講
未開講	心理学講義Ⅰ			2	3～4年前期	1	※Ⅱと隔年で開講
未開講	心理学講義Ⅱ			2	3～4年前期	1	※Ⅰと隔年で開講
未開講	教育学講義Ⅰ			2	3～4年前期	1	※Ⅱと隔年で開講
未開講	教育学講義Ⅱ			2	3～4年前期	1	※Ⅰと隔年で開講
未開講	中国文化論Ⅰ			2	2～3年後期	1	※Ⅱと隔年で開講
未開講	中国文化論Ⅱ			2	2～3年後期	1	※Ⅰと隔年で開講
未開講	フランス語圏文化Ⅰ			2	2～3年後期	1	※Ⅱと隔年で開講
未開講	フランス語圏文化Ⅱ			2	2～3年後期	1	※Ⅰと隔年で開講
未開講	比較文学講義Ⅰ			2	2～3年後期	1	※Ⅱと隔年で開講
未開講	比較文学講義Ⅱ			2	2～3年後期	1	※Ⅰと隔年で開講
未開講	文化人類学			2	2年前期	1	
未開講	日本語教育教材研究	教職		2	3年前期	1	※日本語教育評価法と隔年で開講、集中講義
未開講	日本語教育評価法	教職		2	3年前期	1	※日本語教育教材研究と隔年で開講
未開講	英文学史Ⅰ			2	2年前期	1	
未開講	英文学史Ⅱ			2	2年後期	1	
未開講	米文学史Ⅰ			2	2年前期	1	
未開講	米文学史Ⅱ			2	2年後期	1	
未開講	英米詩概論Ⅰ			2	3～4年前期	1	※Ⅱと隔年で開講
未開講	英米詩概論Ⅱ			2	3～4年前期	1	※Ⅰと隔年で開講
未開講	英語学概論Ⅰ			2	2年前期	1	
未開講	英語学概論Ⅱ			2	2年後期	1	
未開講	英語史Ⅰ			2	3年前期	1	
未開講	英語史Ⅱ			2	3年後期	1	
33566101	英文法Ⅰ		清水	2	1年後期	1	
未開講	英文法Ⅱ			2	2年前期	1	
未開講	英文法Ⅲ			2	2年後期	1	
未開講	異文化コミュニケーション論ＡⅠ			2	3年前期	1	※ⅠとⅡで隔年開講
未開講	異文化コミュニケーション論ＡⅡ			2	3年前期	1	
未開講	異文化コミュニケーション論ＢⅠ			2	2年前期	1	
未開講	異文化コミュニケーション論ＢⅡ			2	2年後期	1	
13100511	情報処理実習（日文）		（川田）	1	1年後期	1	

日本語日本文学科　専門科目群

時間割コード	授　業　科　目　名	教職科目	担当者(非常勤)	○は必修 単位数	配当年次	週コマ数	備考
演習							
未開講	日本語学演習Ⅰ	教職		4	2～4年通年	1	⎫
未開講	日本語学演習Ⅱ	教職		4	2～4年通年	1	⎬ ⅠⅡⅢを3年毎に交互に開講
未開講	日本語学演習Ⅲ	教職		4	2～4年通年	1	⎭
未開講	日本語学演習Ⅳ	教職		4	2～4年通年	1	⎫
未開講	日本語学演習Ⅴ	教職		4	2～4年通年	1	⎬ ⅣⅤⅥを3年毎に交互に開講
未開講	日本語学演習Ⅵ	教職		4	2～4年通年	1	⎭
未開講	日本語学演習Ⅶ	教職		4	2～4年通年	1	⎫
未開講	日本語学演習Ⅷ	教職		4	2～4年通年	1	⎬ ⅦⅧⅨを3年毎に交互に開講
未開講	日本語学演習Ⅸ	教職		4	2～4年通年	1	⎭
未開講	日本語学演習Ⅹ			2	2年前期	1	
未開講	古代文学演習Ⅰ	教職		4	2～4年通年	1	⎫
未開講	古代文学演習Ⅱ	教職		4	2～4年通年	1	⎬ ⅠⅡⅢを3年毎に交互に開講
未開講	古代文学演習Ⅲ	教職		4	2～4年通年	1	⎭
未開講	中近世文学演習Ⅰ	教職		4	2～4年通年	1	⎫
未開講	中近世文学演習Ⅱ	教職		4	2～4年通年	1	⎬ ⅠⅡⅢを3年毎に交互に開講
未開講	中近世文学演習Ⅲ	教職		4	2～4年通年	1	⎭
未開講	複合演習Ⅰ			2	2～4年前期	1	※Ⅲと隔年で開講
未開講	複合演習Ⅱ			2	2～4年後期	1	※Ⅳと隔年で開講
未開講	複合演習Ⅲ			2	2～4年前期	1	※Ⅰと隔年で開講
未開講	複合演習Ⅳ			2	2～4年後期	1	※Ⅱと隔年で開講
未開講	近代文学演習Ⅰ	教職		4	2～4年通年	1	⎫
未開講	近代文学演習Ⅱ	教職		4	2～4年通年	1	⎬ ⅠⅡⅢを3年毎に交互に開講
未開講	近代文学演習Ⅲ	教職		4	2～4年通年	1	⎭
未開講	日本文学演習Ⅰ			2	2～4年前期	1	
未開講	日本文学演習Ⅱ			2	2～4年後期	1	
未開講	日本語教育演習Ⅰ			4	2～4年通年	1	⎫
未開講	日本語教育演習Ⅱ			4	2～4年通年	1	⎬ ⅠⅡⅢを3年毎に交互に開講
未開講	日本語教育演習Ⅲ			4	2～4年通年	1	⎭
未開講	日本語教育演習Ⅳ			2	2年前期	1	
未開講	歴史学演習Ⅰ			2	3～4年前期	1	※Ⅲと隔年で開講
未開講	歴史学演習Ⅱ			2	3～4年後期	1	※Ⅳと隔年で開講
未開講	歴史学演習Ⅲ			2	3～4年前期	1	※Ⅰと隔年で開講
未開講	歴史学演習Ⅳ			2	3～4年後期	1	※Ⅱと隔年で開講
未開講	思想史演習Ⅰ			2	3～4年前期	1	※Ⅲと隔年で開講
未開講	思想史演習Ⅱ			2	3～4年後期	1	※Ⅳと隔年で開講
未開講	思想史演習Ⅲ			2	3～4年前期	1	※Ⅰと隔年で開講
未開講	思想史演習Ⅳ			2	3～4年後期	1	※Ⅱと隔年で開講
未開講	心理学演習Ⅰ			2	3～4年後期	1	※Ⅱと隔年で開講
未開講	心理学演習Ⅱ			2	3～4年後期	1	※Ⅰと隔年で開講
未開講	教育学演習Ⅰ			2	3～4年後期	1	※Ⅱと隔年で開講
未開講	教育学演習Ⅱ			2	3～4年後期	1	※Ⅰと隔年で開講
未開講	言語学演習Ⅰ			2	3年前期	1	
未開講	言語学演習Ⅱ			2	3年後期	1	
未開講	中国文化論演習Ⅰ	教職		2	3～4年前期	1	※Ⅲと隔年で開講
未開講	中国文化論演習Ⅱ	教職		2	3～4年後期	1	※Ⅳと隔年で開講
未開講	中国文化論演習Ⅲ	教職		2	3～4年前期	1	※Ⅰと隔年で開講
未開講	中国文化論演習Ⅳ	教職		2	3～4年後期	1	※Ⅱと隔年で開講
未開講	フランス語圏文化演習Ⅰ			2	3～4年前期	1	※Ⅲと隔年で開講
未開講	フランス語圏文化演習Ⅱ			2	3～4年後期	1	※Ⅳと隔年で開講
未開講	フランス語圏文化演習Ⅲ			2	3～4年前期	1	※Ⅰと隔年で開講
未開講	フランス語圏文化演習Ⅳ			2	3～4年後期	1	※Ⅱと隔年で開講
未開講	比較文学演習Ⅰ			2	3～4年前期	1	※Ⅲと隔年で開講
未開講	比較文学演習Ⅱ			2	3～4年後期	1	※Ⅳと隔年で開講
未開講	比較文学演習Ⅲ			2	3～4年前期	1	※Ⅰと隔年で開講
未開講	比較文学演習Ⅳ			2	3～4年後期	1	※Ⅱと隔年で開講
未開講	異文化コミュニケーション演習Ⅰ			2	3～4年後期	1	※Ⅱと隔年で開講
未開講	異文化コミュニケーション演習Ⅱ			2	3～4年後期	1	※Ⅰと隔年で開講

日本語日本文学科　専門科目群

時間割コード	授　業　科　目　名	教職科目	担当者（非常勤）	○は必修 単位数	配当年次	週コマ数	備考
特殊研究							
未開講	日本語学特殊研究Ⅰ			4	3～4年通年	1	※Ⅱと隔年で開講
未開講	日本語学特殊研究Ⅱ			4	3～4年通年	1	※Ⅰと隔年で開講
未開講	日本語学特殊研究Ⅲ			4	3～4年通年	1	※Ⅳと隔年で開講
未開講	日本語学特殊研究Ⅳ			4	3～4年通年	1	※Ⅲと隔年で開講
未開講	日本語学特殊研究Ⅴ			4	3～4年通年	1	※Ⅵと隔年で開講
未開講	日本語学特殊研究Ⅵ			4	3～4年通年	1	※Ⅴと隔年で開講
未開講	古代文学特殊研究Ⅰ			4	3～4年通年	1	※Ⅱと隔年で開講
未開講	古代文学特殊研究Ⅱ			4	3～4年通年	1	※Ⅰと隔年で開講
未開講	中世文学特殊研究Ⅰ			4	3～4年通年	1	※Ⅱと隔年で開講
未開講	中世文学特殊研究Ⅱ			4	3～4年通年	1	※Ⅰと隔年で開講
未開講	近代文学特殊研究Ⅰ			4	3～4年通年	1	※Ⅱと隔年で開講
未開講	近代文学特殊研究Ⅱ			4	3～4年通年	1	※Ⅰと隔年で開講
未開講	日本語教育特殊研究Ⅰ			4	3～4年通年	1	※Ⅱと隔年で開講
未開講	日本語教育特殊研究Ⅱ			4	3～4年通年	1	※Ⅰと隔年で開講
未開講	歴史学特殊研究Ⅰ			2	4年前期	1	
未開講	歴史学特殊研究Ⅱ			2	4年後期	1	
未開講	思想史特殊研究Ⅰ			2	4年前期	1	
未開講	思想史特殊研究Ⅱ			2	4年後期	1	
未開講	心理学特殊研究Ⅰ			2	4年前期	1	
未開講	心理学特殊研究Ⅱ			2	4年後期	1	
未開講	教育学特殊研究Ⅰ			2	4年前期	1	
未開講	教育学特殊研究Ⅱ			2	4年後期	1	
未開講	言語学特殊研究Ⅰ			2	4年前期	1	
未開講	言語学特殊研究Ⅱ			2	4年後期	1	
未開講	中国文化論特殊研究Ⅰ			2	4年前期	1	
未開講	中国文化論特殊研究Ⅱ			2	4年後期	1	
未開講	フランス語圏文化特殊研究Ⅰ			2	4年前期	1	
未開講	フランス語圏文化特殊研究Ⅱ			2	4年後期	1	
未開講	比較文学特殊研究Ⅰ			2	4年前期	1	
未開講	比較文学特殊研究Ⅱ			2	4年後期	1	
未開講	異文化コミュニケーション特殊研究Ⅰ			2	4年前期	1	
未開講	異文化コミュニケーション特殊研究Ⅱ			2	4年後期	1	
卒業論文							
未開講	卒業論文			⑥	4年次		4年次配当

英語英米文学科　専門科目群

時間割コード	授　業　科　目　名	教職科目	担当者（非常勤）	○は必修 単位数	配当年次	週コマ数	備考
人文基礎							
未開講	文学研究への招待			2	2年前期	1	
未開講	知識と方法			2	2年後期	1	
33000301	言語基礎論		村尾	2	1年後期	1	
33000401	歴史基礎論		大島	2	1年前期	1	
主要科目							
（現代英語運用）							
33316101	Paragraph Writing a	教職	坂井	①	1年後期	1	
33316102	Paragraph Writing b	教職	三木	①	1年後期	1	
33316103	Paragraph Writing c	教職	（永尾）	①	1年後期	1	
未開講	College Writing Ⅰ a	教職		①	2年前期	1	
未開講	College Writing Ⅰ b	教職		①	2年前期	1	
未開講	College Writing Ⅰ c	教職		①	2年前期	1	
未開講	College Writing Ⅱ a	教職		①	2年後期	1	
未開講	College Writing Ⅱ b	教職		①	2年後期	1	
未開講	College Writing Ⅱ c	教職		①	2年後期	1	
未開講	Research Writing Ⅰ a	教職		②	3年前期	1	
未開講	Research Writing Ⅰ b	教職		②	3年前期	1	
未開講	Research Writing Ⅰ c	教職		②	3年前期	1	
未開講	Research Writing Ⅱ a	教職		②	3年後期	1	
未開講	Research Writing Ⅱ b	教職		②	3年後期	1	
未開講	Research Writing Ⅱ c	教職		②	3年後期	1	
未開講	言語表現と翻訳技法Ⅰ	教職		1	3～4年前期	1	
未開講	言語表現と翻訳技法Ⅱ	教職		1	3～4年後期	1	
未開講	Oral Presentation Ⅰ a			①	2年後期	1	
未開講	Oral Presentation Ⅰ b			①	2年後期	1	
未開講	Oral Presentation Ⅱ a			①	3年前期	1	
未開講	Oral Presentation Ⅱ b			①	3年前期	1	
未開講	Oral Presentation Ⅲ a			①	3年後期	1	
未開講	Oral Presentation Ⅲ b			①	3年後期	1	
33317101	Integrated Skills Ⅰ a	教職	(Minor)	①	1年前期	1	
33317102	Integrated Skills Ⅰ b	教職	(Minor)	①	1年前期	1	
33317103	Integrated Skills Ⅰ c	教職	(Rosen)	①	1年前期	1	
33317201	Integrated Skills Ⅱ a	教職	(Minor)	①	1年後期	1	
33317202	Integrated Skills Ⅱ b	教職	(Minor)	①	1年後期	1	
33317203	Integrated Skills Ⅱ c	教職	(Tournat)	①	1年後期	1	
未開講	Integrated Skills Ⅲ a	教職		①	2年前期	1	
未開講	Integrated Skills Ⅲ b	教職		①	2年前期	1	
未開講	Integrated Skills Ⅳ a	教職		①	2年後期	1	
未開講	Integrated Skills Ⅳ b	教職		①	2年後期	1	
未開講	Integrated Skills Ⅴ			1	3年前期	1	
未開講	Integrated Skills Ⅵ			1	3年後期	1	
未開講	Integrated Skills Ⅶ			1	4年前期	1	
未開講	Integrated Skills Ⅷ			1	4年後期	1	
33317901	Academic Reading Skills Ⅰ a	教職	清水	①	1年前期	1	
33317902	Academic Reading Skills Ⅰ b	教職	（トウメイ）	①	1年前期	1	
33318001	Academic Reading Skills Ⅱ a	教職	（トウメイ）	①	1年後期	1	
33318002	Academic Reading Skills Ⅱ b	教職	（有働）	①	1年後期	1	
33319001	Extensive Reading and Listening Ⅰ a	教職	吉井	①	1年後期	1	
33319002	Extensive Reading and Listening Ⅰ b	教職	(Tomei)	①	1年後期	1	
未開講	Extensive Reading and Listening Ⅱ a	教職		①	2年前期	1	
未開講	Extensive Reading and Listening Ⅱ b	教職		①	2年前期	1	

英語英米文学科　専門科目群

時間割コード	授　業　科　目　名	教職科目	担当者（非常勤）	○は必修 単位数	配当年次	週コマ数	備考
	（英語学）						
33566101	英文法Ⅰ	教職	清水	②	1年後期	1	
未開講	英文法Ⅱ	教職		②	2年前期	1	
未開講	英文法Ⅲ			②	2年後期	1	
未開講	英語学概論Ⅰ	教職		②	2年前期	1	
未開講	英語学概論Ⅱ	教職		②	2年後期	1	
33331101	英語音声学Ⅰ	教職	飯村	2	1年前期	1	
33331201	英語音声学Ⅱ	教職	飯村	2	1年後期	1	
未開講	英語史Ⅰ	教職		2	3年前期	1	
未開講	英語史Ⅱ	教職		2	3年後期	1	
未開講	英語学特別講義Ⅰ			2	3～4年前期	1	※ⅠとⅡで隔年開講、集中講義
未開講	英語学特別講義Ⅱ			2	3～4年後期	1	
	（英語教育）						
未開講	英語教育講義	教職		2	2年後期	1	
未開講	英語教育特別講義Ⅰ			2	3～4年前期	1	※ⅠとⅡで隔年開講、集中講義
未開講	英語教育特別講義Ⅱ			2	3～4年前期	1	
	（英文学・米文学）						
未開講	英文学史Ⅰ	教職		②	2年前期	1	
未開講	英文学史Ⅱ	教職		②	2年後期	1	
33363101	英文学講読Ⅰa	教職	村里	②	1年前期	1	
33363102	英文学講読Ⅰb	教職	水尾	②	1年前期	1	
未開講	英文学講読Ⅱ	教職		2	2年後期	1	
未開講	英文学特別講義Ⅰ			2	3～4年前期	1	※ⅠとⅡで隔年開講、集中講義
未開講	英文学特別講義Ⅱ			2	3～4年前期	1	
未開講	米文学史Ⅰ	教職		②	2年前期	1	
未開講	米文学史Ⅱ	教職		②	2年後期	1	
33367101	米文学講読Ⅰa	教職	Bouarib	②	1年後期	1	
33367102	米文学講読Ⅰb	教職	坂井	②	1年後期	1	
未開講	米文学講読Ⅱ	教職		2	2年前期	1	
未開講	米文学特別講義Ⅰ			2	3～4年後期	1	※ⅠとⅡで隔年開講、集中講義
未開講	米文学特別講義Ⅱ			2	3～4年前期	1	
未開講	英米詩概論Ⅰ	教職		2	3～4年前期	1	※ⅠとⅡで隔年開講
未開講	英米詩概論Ⅱ	教職		2	3～4年前期	1	
未開講	英語圏文学講読Ⅰ	教職		2	3年前期	1	
未開講	英語圏文学講読Ⅱ	教職		2	3年後期	1	

英語英米文学科　専門科目群

時間割コード	授　業　科　目　名	教職科目	担当者（非常勤）	○は必修 単位数	配当年次	週コマ数	備考
学部共通科目							
未開講	日本文化論Ⅰ			2	2年前期	1	
未開講	日本文化論Ⅱ			2	2年後期	1	
未開講	中国文学史Ⅰ			2	3年前期	1	
未開講	中国文学史Ⅱ			2	3年後期	1	
未開講	日中比較文学Ⅰ			2	3年前期	1	
未開講	日中比較文学Ⅱ			2	3年後期	1	
未開講	地域文化研究Ⅰ			2	2～3年前期	1	
未開講	地域文化研究Ⅱ			2	2～3年後期	1	
未開講	人文学概論			2	2年前期	1	
未開講	西洋文化史Ⅰ	教職		2	2年前期	1	
未開講	西洋文化史Ⅱ	教職		2	2年後期	1	
未開講	歴史学講義Ⅰ			2	2～3年後期	1	※ⅠとⅡで隔年開講
未開講	歴史学講義Ⅱ			2	2～3年後期	1	
未開講	思想史講義Ⅰ			2	2～3年後期	1	※ⅠとⅡで隔年開講
未開講	思想史講義Ⅱ			2	2～3年後期	1	
未開講	心理学講義Ⅰ			2	3～4年前期	1	※ⅠとⅡで隔年開講
未開講	心理学講義Ⅱ			2	3～4年前期	1	
未開講	教育学講義Ⅰ			2	3～4年前期	1	※ⅠとⅡで隔年開講
未開講	教育学講義Ⅱ			2	3～4年前期	1	
未開講	中国文化論Ⅰ			2	2～3年後期	1	※ⅠとⅡで隔年開講
未開講	中国文化論Ⅱ			2	2～3年後期	1	
未開講	フランス語圏文化Ⅰ			2	2～3年後期	1	※ⅠとⅡで隔年開講
未開講	フランス語圏文化Ⅱ			2	2～3年後期	1	
未開講	比較文学講義Ⅰ			2	2～3年後期	1	※ⅠとⅡで隔年開講
未開講	比較文学講義Ⅱ			2	2～3年後期	1	
未開講	異文化コミュニケーション論ＡⅠ			2	3年前期	1	※ⅠとⅡで隔年開講
未開講	異文化コミュニケーション論ＡⅡ			2	3年前期	1	
未開講	異文化コミュニケーション論ＢⅠ			2	2年前期	1	
未開講	異文化コミュニケーション論ＢⅡ			2	2年後期	1	
未開講	文化人類学			2	2年前期	1	
未開講	現代日本語の分析			2	2年後期	1	
未開講	日本語教育教材研究	教職		2	3年前期	1	※日本語教育評価法と隔年で開講、集中講義
未開講	日本語教育評価法	教職		2	3年前期	1	※日本語教育教材研究と隔年で開講
33101101	日本語学概論Ⅰ		小川	2	1年前期	1	
33101201	日本語学概論Ⅱ		半藤	2	1年後期	1	
未開講	日本語史Ⅰ			2	3年前期	1	
未開講	日本語史Ⅱ			2	3年後期	1	
未開講	日本文法Ⅰ			2	2年前期	1	
未開講	日本文法Ⅱ			2	2年後期	1	
33161101	日本語教授法Ⅰ		馬場	2	1年前期	1	
33161201	日本語教授法Ⅱ		馬場	2	1年後期	1	
未開講	日本語教授法Ⅲ	教職		2	2年前期	1	
未開講	日本語教授法Ⅳ	教職		2	2年後期	1	
13100521	情報処理実習（英文）		（島谷）	1	1年後期	1	

英語英米文学科　専門科目群

時間割コード	授　業　科　目　名	教職科目	担当者（非常勤）	○は必修 単位数	配当年次	週コマ数	備考
演習							
未開講	英語学演習Ⅰａ			2	3年前期	1	
未開講	英語学演習Ⅰｂ			2	3年前期	1	
未開講	英語学演習Ⅱａ			2	3年後期	1	
未開講	英語学演習Ⅱｂ			2	3年後期	1	
未開講	英文学演習Ⅰａ			2	3年前期	1	
未開講	英文学演習Ⅰｂ			2	3年前期	1	
未開講	英文学演習Ⅱａ			2	3年後期	1	
未開講	英文学演習Ⅱｂ			2	3年後期	1	
未開講	米文学演習Ⅰａ			2	3年前期	1	
未開講	米文学演習Ⅰｂ			2	3年前期	1	
未開講	米文学演習Ⅱａ			2	3年後期	1	
未開講	米文学演習Ⅱｂ			2	3年後期	1	
未開講	英語教育演習Ⅰａ			2	3年前期	1	
未開講	英語教育演習Ⅰｂ			2	3年前期	1	
未開講	英語教育演習Ⅰｃ			2	3年前期	1	
未開講	英語教育演習Ⅱａ			2	3年後期	1	
未開講	英語教育演習Ⅱｂ			2	3年後期	1	
未開講	英語教育演習Ⅱｃ			2	3年後期	1	
未開講	歴史学演習Ⅰ			2	3～4年前期	1	※Ⅲと隔年で開講
未開講	歴史学演習Ⅱ			2	3～4年後期	1	※Ⅳと隔年で開講
未開講	歴史学演習Ⅲ			2	3～4年前期	1	※Ⅰと隔年で開講
未開講	歴史学演習Ⅳ			2	3～4年後期	1	※Ⅱと隔年で開講
未開講	思想史演習Ⅰ			2	3～4年前期	1	※Ⅲと隔年で開講
未開講	思想史演習Ⅱ			2	3～4年後期	1	※Ⅳと隔年で開講
未開講	思想史演習Ⅲ			2	3～4年前期	1	※Ⅰと隔年で開講
未開講	思想史演習Ⅳ			2	3～4年後期	1	※Ⅱと隔年で開講
未開講	心理学演習Ⅰ			2	3～4年後期	1	※ⅠとⅡで隔年開講
未開講	心理学演習Ⅱ			2	3～4年後期	1	
未開講	教育学演習Ⅰ			2	3～4年後期	1	※ⅠとⅡで隔年開講
未開講	教育学演習Ⅱ			2	3～4年後期	1	
未開講	言語学演習Ⅰ			2	3年前期	1	
未開講	言語学演習Ⅱ			2	3年後期	1	
未開講	中国文化論演習Ⅰ			2	3～4年前期	1	※Ⅲと隔年で開講
未開講	中国文化論演習Ⅱ			2	3～4年後期	1	※Ⅳと隔年で開講
未開講	中国文化論演習Ⅲ			2	3～4年前期	1	※Ⅰと隔年で開講
未開講	中国文化論演習Ⅳ			2	3～4年後期	1	※Ⅱと隔年で開講
未開講	フランス語圏文化演習Ⅰ			2	3～4年前期	1	※Ⅲと隔年で開講
未開講	フランス語圏文化演習Ⅱ			2	3～4年後期	1	※Ⅳと隔年で開講
未開講	フランス語圏文化演習Ⅲ			2	3～4年前期	1	※Ⅰと隔年で開講
未開講	フランス語圏文化演習Ⅳ			2	3～4年後期	1	※Ⅱと隔年で開講
未開講	比較文学演習Ⅰ			2	3～4年前期	1	※Ⅲと隔年で開講
未開講	比較文学演習Ⅱ			2	3～4年後期	1	※Ⅳと隔年で開講
未開講	比較文学演習Ⅲ			2	3～4年前期	1	※Ⅰと隔年で開講
未開講	比較文学演習Ⅳ			2	3～4年後期	1	※Ⅱと隔年で開講
未開講	異文化コミュニケーション演習Ⅰ			2	3～4年後期	1	※ⅠとⅡで隔年開講
未開講	異文化コミュニケーション演習Ⅱ			2	3～4年後期	1	
未開講	日本語教育演習Ⅰ			4	2～4年通年	1	ⅠⅡⅢを3年毎に交互に開講
未開講	日本語教育演習Ⅱ			4	2～4年通年	1	
未開講	日本語教育演習Ⅲ			4	2～4年通年	1	
未開講	日本語教育演習Ⅳ			2	2年前期	1	

英語英米文学科　専門科目群

時間割コード	授　業　科　目　名	教職科目	担当者（非常勤）	○は必修 単位数	配当年次	週コマ数	備考
特殊研究							
未開講	英語学特殊研究Ⅰａ			2	４年前期	1	
未開講	英語学特殊研究Ⅰｂ			2	４年前期	1	
未開講	英語学特殊研究Ⅱａ			2	４年後期	1	
未開講	英語学特殊研究Ⅱｂ			2	４年後期	1	
未開講	英文学特殊研究Ⅰａ			2	４年前期	1	
未開講	英文学特殊研究Ⅰｂ			2	４年前期	1	
未開講	英文学特殊研究Ⅱａ			2	４年後期	1	
未開講	英文学特殊研究Ⅱｂ			2	４年後期	1	
未開講	米文学特殊研究Ⅰａ			2	４年前期	1	
未開講	米文学特殊研究Ⅰｂ			2	４年前期	1	
未開講	米文学特殊研究Ⅱａ			2	４年後期	1	
未開講	米文学特殊研究Ⅱｂ			2	４年後期	1	
未開講	英語教育特殊研究Ⅰａ			2	４年前期	1	
未開講	英語教育特殊研究Ⅰｂ			2	４年前期	1	
未開講	英語教育特殊研究Ⅰｃ			2	４年前期	1	
未開講	英語教育特殊研究Ⅱａ			2	４年後期	1	
未開講	英語教育特殊研究Ⅱｂ			2	４年後期	1	
未開講	英語教育特殊研究Ⅱｃ			2	４年後期	1	
未開講	日本語教育特殊研究Ⅰ			4	３～４年通年	1	※ⅠとⅡで隔年開講
未開講	日本語教育特殊研究Ⅱ			4	３～４年通年	1	
未開講	歴史学特殊研究Ⅰ			2	４年前期	1	
未開講	歴史学特殊研究Ⅱ			2	４年後期	1	
未開講	思想史特殊研究Ⅰ			2	４年前期	1	
未開講	思想史特殊研究Ⅱ			2	４年後期	1	
未開講	心理学特殊研究Ⅰ			2	４年前期	1	
未開講	心理学特殊研究Ⅱ			2	４年後期	1	
未開講	教育学特殊研究Ⅰ			2	４年前期	1	
未開講	教育学特殊研究Ⅱ			2	４年後期	1	
未開講	言語学特殊研究Ⅰ			2	４年前期	1	
未開講	言語学特殊研究Ⅱ			2	４年後期	1	
未開講	中国文化論特殊研究Ⅰ			2	４年前期	1	
未開講	中国文化論特殊研究Ⅱ			2	４年後期	1	
未開講	フランス語圏文化特殊研究Ⅰ			2	４年前期	1	
未開講	フランス語圏文化特殊研究Ⅱ			2	４年後期	1	
未開講	比較文学特殊研究Ⅰ			2	４年前期	1	
未開講	比較文学特殊研究Ⅱ			2	４年後期	1	
未開講	異文化コミュニケーション特殊研究Ⅰ			2	４年前期	1	
未開講	異文化コミュニケーション特殊研究Ⅱ			2	４年後期	1	
卒業論文							
未開講	卒業論文			⑥	４年次		４年次配当

教職に関する科目（両学科共通）

時間割コード	授　業　科　目　名	担当者 (非常勤)	単位数 ○は必修	配当年次	週コマ数	備考
未開講	教職論		②	２年前期	1	
未開講	教育原理		②	２年後期	1	
未開講	教育心理学Ⅰ		②	２年後期	1	
未開講	教育心理学Ⅱ（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）		①	２年後期	1	集中講義
未開講	教育社会学		2	３年後期	1	いずれか１科目選択必修
未開講	教育制度論		2	３年前期	1	
未開講	教育課程論		②	３年前期	1	
未開講	国語科教育法Ⅰ		②	３年前期	1	国語のみ必修
未開講	国語科教育法Ⅱ		②	３年後期	1	
未開講	国語科教育法Ⅲ		②	４年前期	1	
未開講	国語科教育法演習		2	４年後期	1	
未開講	英語科教育法Ⅰ		②	３年前期	1	英語のみ必修
未開講	英語科教育法Ⅱ		②	３年後期	1	
未開講	英語科教育法Ⅲ		②	４年前期	1	
未開講	英語科教育法セミナー		2	４年後期	1	
未開講	道徳教育の理論と方法		②	２年前期	1	中学校一種免許のみ必修
未開講	特別活動の理論と方法		②	２年後期	1	
未開講	教育の方法と技術		②	２年後期	1	
未開講	生徒指導の理論及び方法		②	３年前期	1	
未開講	教育相談の理論と方法		②	３年後期	1	
未開講	教育実習指導		②	４年次	1	
未開講	教育実習（中学校一種免許）		④	４年次	※	４年次に教育実習 ※３年次における希望調査とは別に、改めて履修登録をする必要があるので、注意すること。
未開講	教育実習（高等学校一種免許）		②	４年次	※	
未開講	教職実践演習（中・高）		②	４年後期	1	

Ⅳ　日本語教育課程及び日本語教育分野について

⑴　日本語教育課程

「日本語教育課程」は、日本語日本文学科及び英語英米文学科に共通の文学部の副専攻課程です。

留学先で日本語を教えるかもしれない、いつかボランティアで教えてみたい、自分で教えようとは思わないが外国人に対する日本語教育に興味がある等、日本語教育に興味のある人が対象です。

カリキュラムを構成する科目は講義だけで、日本語教育に関する基本的な知識を身につけることができます。

日本語教育課程カリキュラム（平成20年度以降入学者）

目的	科目	開講単位数	必要単位数	開講学年
日本語の教授に関する知識と能力の養成	日本語教授法Ⅰ～Ⅳ	2単位×4	8単位	1年前期～2年後期
言語分析の基礎	言語基礎論	2単位	2単位	1年後期
日本語の分析能力の養成	現代日本語の分析	2単位	2単位	2年後期
日本語、日本語学、日本文学に関する知識の獲得	日本語学概論Ⅰ・Ⅱ 日本文法Ⅰ 近代文学史 近代文学講読	2単位×2 2単位 2単位 2単位	4単位 選択	1年前後期 2年前期 1年後期 1年前期
外国語能力の養成	専攻以外の外国語	2単位×2	4単位	
合　計		24単位	20単位	

⑵　日本語教育分野

「日本語教育分野」は、日本語日本文学科、英語英米文学科それぞれにもうけられた専門的な分野です。プロ意識に裏打ちされた実践的な教授能力を有し、現代日本語の音声と文法を客観的に分析し研究のできる日本語教師の養成を目指しています。

実践的な教授能力は、日本語教授法Ⅲ、Ⅳ、日本語教育教材研究、日本語教育評価法、そして、日本語教育演習で実施される教育実習その他（「日本語教育研究室年間予定」を参照）によって、研究能力は、言語学関係科目、日本語学関係科目、日本語教授法Ⅰ、Ⅱ、日本語教育特殊研究、卒業論文によって養成します。

日本語教授法Ⅰでは日本語の音声について、日本語教授法Ⅱでは文字・表記、文法について学び、日本語教授法Ⅲ、Ⅳでは実際の教授法、指導案の作成方法を学びます。それをもとに、海外、国内での教育実習その他を経験し、問題意識を深めながら、日本語教育教材研究、日本語教育評価法を履修、日本語教育特殊研究で外国人留学生の書いた作文の誤用分析をし、これらの経験をさらにまた教育実習にいかします。すべての知識、経験の集大成が卒業論文です。

具体的なカリキュラムは、日本語日本文学科、英語英米文学科それぞれの卒業論文履修分野説明を見てください。

日本語教育研究室年間予定

	教育実習と日本語教室		研修会の実績
5月	米国モンタナ州立大学短期研修団		
6月			
7月	韓国祥明大學校短期研修団（※）		
8月	黒髪小学校夏休み日本語教室（※）		帰国・外国人児童・生徒の日本語の先生と担任のための研修会
9月			
10月	韓国祥明大學校（※） 台湾開南大學校（※）	熊本市国際交流会館日本語教室	
11月	中国広西大学（※）		
12月	トルコ国チャナッカレ・オンセキズマルト大学（※）		
1月			
2月			多文化共生シンポジウム

（※）は「日本語教育演習」の単位となります。

大学関係の規程等について

1　大学学則
2　大学における教育研究上の目的に関する規程
3　学位規程
4　大学履修規程
5　熊本県立大学試験に関する規程
6　熊本県立大学成績優秀者表彰規程
7　定期試験の受験心得

※　上記の学則・規程等は、熊本県立大学のホームページに掲載してありますので、必要に応じて読むようにしてください。
　熊本県立大学ホームページトップの左下のアイコン「規程集」に掲載しています。